Ⅰ　定点把握感染症
（性感染症を除く）

定点把握感染症（性感染症を除く）

1．平成 21 年のまとめ

平成 21 年の感染症発生動向調査事業の定点把握感染症（性感染症を除く）を概観して、特徴的な事象について概要を述べたい。小児科定点からの報告のうち、定点あたり年平均の報告数で最も多かったのは例年通り感染性胃腸炎で、5.77 と昨年の 5.96 より微減であり、3 年連続で少しずつ減少している。次が A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、以下、水痘、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、突発性発疹の順であった。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は平成 16 年以降増加していたが、本年は 1.40 で昨年の 1.79 より減少に転じた。水痘は昨年より 6％減の 1.23 であった。ヘルパンギーナは昨年より 40％増の 0.83、流行性耳下腺炎は 0.64 で昨年より約倍増した。

平成 21 年に 42 年ぶりのパンデミックインフルエンザが勃発したことは最大の特徴であった。インフルエンザの流行は冬季と晩秋に 2 度のピークとなる 2 峰性の流行で、定点あたりの年間平均報告数は 10.93 となり昨年の 5 倍であった。全国で約 2,000 万人が、大阪府では約 120 万人が発症したと推定されている。2 度のピークの報告数はどちらも約 30 で、新型インフルエンザのピークは同等であったが、報告数 5 以上の流行期間が 5 か月と長く、発症者は季節性の約 1.5 倍となった。2009/2010 シーズンはほとんどすべて新型によるもので B 型が散発的に認められただけの特徴的な流行であった。

全数報告疾患の麻しんの届け出数は 57 例で、昨年度より 85.5％減少した。21 年は麻しん疑い例の各衛生研究所による確認検査は必須ではなかったが、22 年度からは全例検査により確認することが要求され、確定診断することにより流行の実態を明確にし、2012 年の麻しん排除に向け、検査システムを確立したい。

インフルエンザの定点医療機関数は、内科と小児科合せて 305 で昨年度より 2 増加した。小児科定点数も 198 と 2 増加し、眼科定点数 52 は昨年と変わらず、基幹定点数は 1 増加して 16 となった。

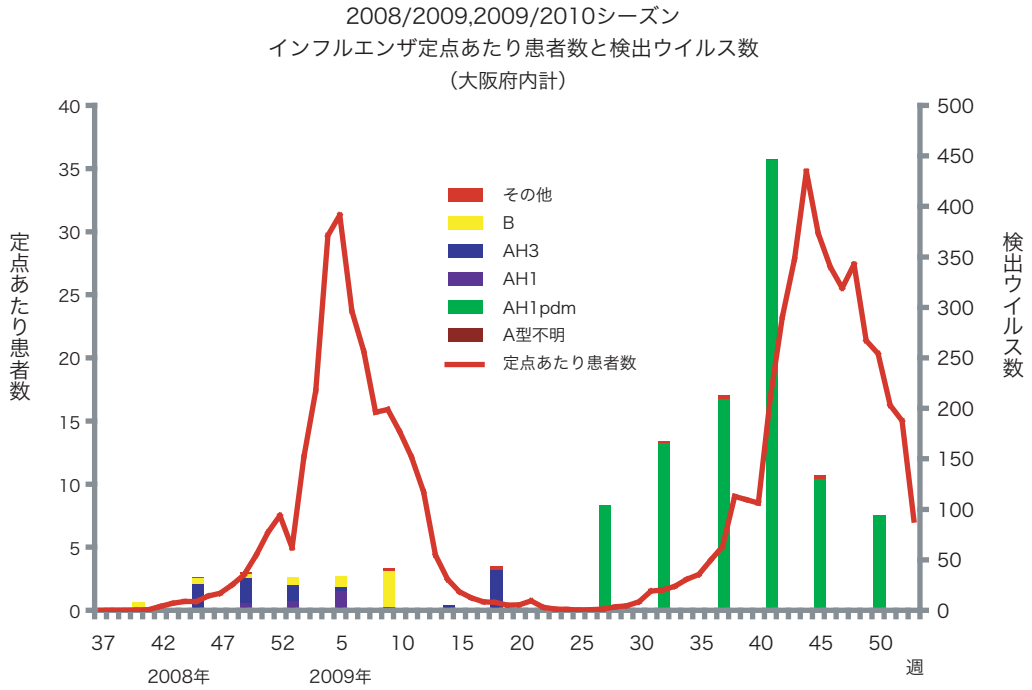
（文責：高橋）

1）平成 21 年注目された感染症

【インフルエンザ】

2008/2009 シーズンは第 2 週に定点あたり報告数が 10 を超え、第 5 週に 31.6 とピークを迎えた。第 11 週までは 10 以上であったが以後減少が続き第 17 週に 1 を切った。ピークの患者数が定点当たり 30 を超えたのは 2004/2005 シーズン以来で過去 10 年では 2 番目に大きな流行となった。定点あたり 10 を超えていた期間も 10 週間と比較的長かった。

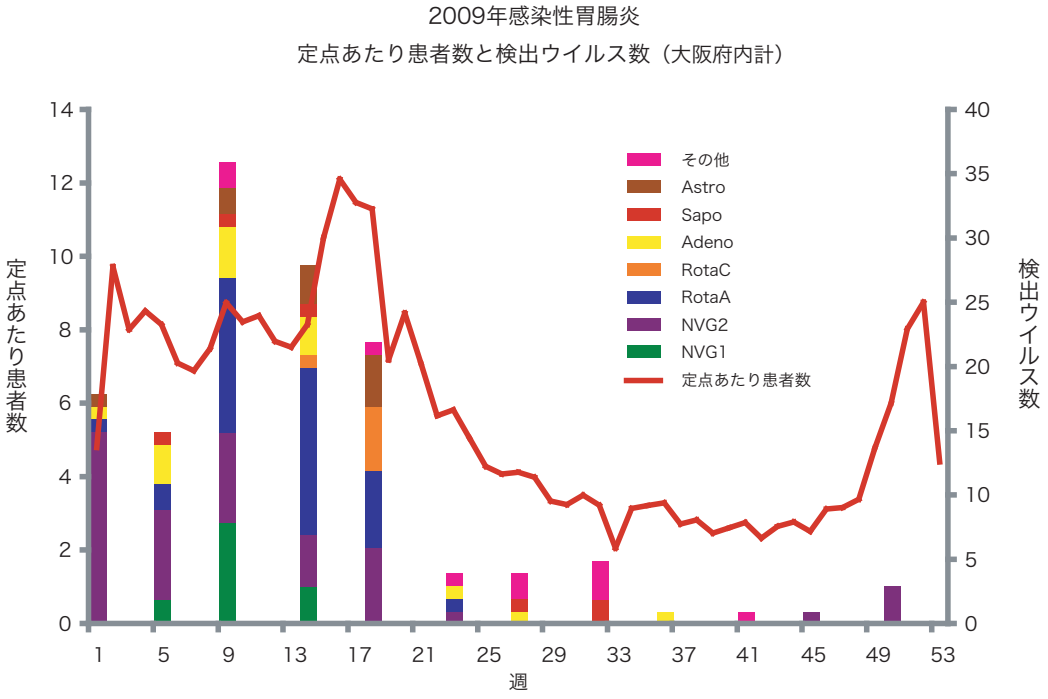
4 月に北米で発生が確認された新型インフルエンザは、5 月に府内でも初の患者が報告され学校での集団感染が認められた。全数報告が行われていた第 30 週までに 1023 例が報告されている。8 月 25 日以降は個別の発生届が不要になり、5 類定点報告疾患のインフルエンザとしてその動向が調査されている。定点あたり 1 を超えたのは第 31 週で、第 44 週に 35.9 とピークを迎えた。10 を超えていた期間は第 41 週から第 52 週までの 12 週間と長かったが、2010 年になってからは患者数は減少し第 8 週には定点あたり 0.7 と 1 を切った。



発生当初は確定診断のために検査が行われていたので、例年に比較して本年は多くのインフルエンザウイルスが検出されている（ウイルス検査情報表 5 参照）。病原体定点からのサーベイランスを目的とした検査に限定して検討すると、平成 21 年の 1 年間では 1901 検体から 1335 検体でウイルスが検出され陽性率は 58.1％であった。新型インフルエンザウイルスが 1156 例と最も多く、次いで AH3 亜型 67 例、AH1 亜型 36 例、B 型 54 例であった。月別にみると 10 月の検体が 449 例、9 月が 214 例と多い。9 月以降に検出されたインフルエンザウイルスは、11 月の病原体定点以外の検体からの B 型 1 例を除きすべて新型で、2009/2010 シーズンは新型インフルエンザウイルスの単独流行であった。一方 2008/2009 シーズンは AH1、AH3、B 型ともに流行が認められた。

【感染性胃腸炎】

定点あたり報告数の年平均は 5.77 で、本事業始まって以来の最高値であった平成 18 年の 7.02 から 3 年連続で減少した。患者発生のピークは第 16 週の 12.1 で、第 15 週から第 18 週の 4 週間で 10 を超えていた。最低値は第 33 週の 2.05 で、第 46 週以降患者が増加し第 52 週に 8.75 となったが、例年のような年末に 10 を超える増加は認められな



かった。

病原体定点からの感染性胃腸炎の検査数は 300 例でそのうち 133 例でウイルスが検出された（陽性率 44.3%）。最も多く検出されたのはノロウイルスの 57 例で総検出数の 42.9%を占めた。G2 型 44 例、G1 型 13 例と G2 型のほうが多かった。次いで検出数の多かったのがロタウイルス 41 例であった。A 群が 35 例と多かったが C 群も 6 例検出されている。以下アデノウイルス 14 例、アストロウイルス 10 例、サポウイルス 6 例であった。検出数はすくないものの、他にエンテロウイルスやライノウイルス等も検出されている。ノロウイルスは 7 月から 10 月を除く 8 ヶ月間で検出されており、1 月と 3 月が 15 例で最も多かった。次いで 2 月 9 例、4 月 7 例であった。一方ロタウイルスは 4 月に 14 例と最多で、次いで 3 月の 12 例であった。A 群は 3 月から 5 月、C 群は 5 月に検出が目立った。

（文責：宮川）

平成 21 年 感染症発生動向調査　カレンダー

週	調査期間	週	調査期間	週	調査期間
1 週	12.29 ～ 1.4	19週	5.4 ～ 5.10	37週	9.7 ～ 9.13
2 週	1.5 ～ 1.11	20週	5.11 ～ 5.17	38週	9.14 ～ 9.20
3 週	1.12 ～ 1.18	21週	5.18 ～ 5.24	39週	9.21 ～ 9.27
4 週	1.19 ～ 1.25	22週	5.25 ～ 5.31	40週	9.28 ～ 10.4
5 週	1.26 ～ 2.1	23週	6.1 ～ 6.7	41週	10.5 ～ 10.11
6 週	2.2 ～ 2.8	24週	6.8 ～ 6.14	42週	10.12 ～ 10.18
7 週	2.9 ～ 2.15	25週	6.15 ～ 6.21	43週	10.19 ～ 10.25
8 週	2.16 ～ 2.22	26週	6.22 ～ 6.28	44週	10.26 ～ 11.1
9 週	2.23 ～ 3.1	27週	6.29 ～ 7.5	45週	11.2 ～ 11.8
10週	3.2 ～ 3.8	28週	7.6 ～ 7.12	46週	11.9 ～ 11.15
11週	3.9 ～ 3.15	29週	7.13 ～ 7.19	47週	11.16 ～ 11.22
12週	3.16 ～ 3.22	30週	7.20 ～ 7.26	48週	11.23 ～ 11.29
13週	3.23 ～ 3.29	31週	7.27 ～ 8.2	49週	11.30 ～ 12.6
14週	3.30 ～ 4.5	32週	8.3 ～ 8.9	50週	12.7 ～ 12.13
15週	4.6 ～ 4.12	33週	8.10 ～ 8.16	51週	12.14 ～ 12.20
16週	4.13 ～ 4.19	34週	8.17 ～ 8.23	52週	12.21 ～ 12.27
17週	4.20 ～ 4.26	35週	8.24 ～ 8.30	53週	12.28 ～ 1.3
18週	4.27 ～ 5.3	36週	8.31 ～ 9.6		

2）感染症別・週別患者情報

インフルエンザを除いた年平均の定点あたり報告数の上位５疾患は、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎、ヘルパンギーナの順である。昨年と比較すると、感染性胃腸炎は約80％に減少し、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘はほぼ昨年並みであった。流行性耳下腺炎が1.6倍と増加し、平年よりも約５割増加しており流行年であった。逆にヘルパンギーナは1，２年前の約65％と減少していた（昨年は手足口病、ヘルパンギーナが４，５位)。感染性胃腸炎の定点あたりの報告数の最高値は第２週の10.23で、この週のみ10以上となった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は1–3月と4–6月期に定点あたり２前後の流行があり、他の期間は１前後で推移した。水痘も前年末から1–3月と4–7月期に前年と同様な流行があり、最高値は第２週の3.02であった。 流行性耳下腺炎は例年と同じく6-8月になだらかな流行があり、ピークも昨年と同じ７月の31週で、昨年と比較してどの週も約５割増加していた。ヘルパンギーナは例年通り6-8月に患者が集中し、最高値は31週の2.61で昨年の半数以下であった。手足口病の報告数は昨年の約半数で例年よりも減少していた。RSウイルス感染症の報告数は35,012例と昨年の約７割であった。これは11，12月の流行がより小規模であったことが原因である。

3）感染症別・ブロック別患者報告状況

大阪府内を11ブロックに分け、各ブロックの構成市町村、定点数、人口、出生数ならびに１年間の総報告数を表（P20,P18）に示した。インフルエンザ定点、基幹定点からの報告を除いた人口あたりの報告数で最も多かったブロックは北河内で、最も少ない大阪市西部とは2.9倍の差が見られた。以下、中河内、南河内、泉州、豊能の順であった。感染症別で人口あたりの報告数が多かったブロックは、感染性胃腸炎は北河内、中河内、南河内、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は北河内、豊能、堺市、水痘は北河内、南河内、中河内、流行性耳下腺炎は北河内、南河内、中河内の順であった。ヘルパンギーナは北河内、南河内、泉州の順、RSウイルス感染症は三島、大阪市北部、中河内の順であった。

インフルエンザは北河内からの報告が最も多く、以下、南河内、中河内、泉州の順であった。

4）感染症別・年齢別患者報告状況

インフルエンザ定点、基幹定点からの報告を除いた年齢別報告数で最も多かった年齢は

1 歳で、次いで 2 歳、3 歳、0 歳、4 歳の順であった。3 歳までの報告数は、全報告数の 51.1％とほぼ半数を占めた。0 歳において頻度の高い疾患は感染性胃腸炎、次いで突発性発疹、RS ウイルス感染症であり、この 3 疾患で 79％を占める。1 歳では感染性胃腸炎、水痘、突発性発疹であり、2 歳で頻度の高い疾患は、感染性胃腸炎、水痘、ヘルパンギーナ、3 歳では感染性胃腸炎、水痘、A 群溶連菌咽頭炎である。個々の感染症の最好発年齢をみると、0 歳は RS ウイルス感染症、百日咳が最好発年齢で、1 歳は感染性胃腸炎、水痘、ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱で最も高頻度である。4 歳は流行性耳下腺炎が最も多く、5 歳では A 群溶連菌咽頭炎、伝染性紅斑が最高頻度であった。この好発年齢の傾向は過去 3 年同様であった。インフルエンザは 6 歳で最も高頻度であったが、4 歳から 9 歳までの間では頻度に大きな差を認めなかった。本年もインフルエンザを除外すると、すべての年齢で感染性胃腸炎の報告が最も高かった。

（文責：高橋）

平成 21 年 年平均の定点あたり報告数上位５疾患

大阪府内患者数(単位：人)

週	1位		2位		3位		4位		5位		ＴＯＰＩＣＳ
1	感染性胃腸炎	930	水痘	187	A群溶連菌咽頭炎	119	RSウイルス感染症	76	流行性耳下腺炎	34	冬型感染症　流行続く
2	感染性胃腸炎	1,778	水痘	409	A群溶連菌咽頭炎	293	RSウイルス感染症	108	流行性耳下腺炎	102	インフルエンザ　流行加速
3	感染性胃腸炎	1,555	A群溶連菌咽頭炎	317	水痘	267	突発性発しん	110	流行性耳下腺炎	82	インフルエンザ　さらに増加
4	感染性胃腸炎	1,622	A群溶連菌咽頭炎	433	水痘	304	突発性発しん	88	RSウイルス感染症	72	インフルエンザ　警報レベルに接近
5	感染性胃腸炎	1,581	A群溶連菌咽頭炎	446	水痘	254	突発性発しん	103	RSウイルス感染症	81	インフルエンザ　警報レベル超える
6	感染性胃腸炎	1,384	A群溶連菌咽頭炎	435	水痘	261	流行性耳下腺炎	79	突発性発しん	78	インフルエンザ　ピーク超える
7	感染性胃腸炎	1,348	A群溶連菌咽頭炎	425	水痘	257	突発性発しん	70	流行性耳下腺炎	58	インフルエンザ　減少
8	感染性胃腸炎	1,451	A群溶連菌咽頭炎	452	水痘	281	流行性耳下腺炎	88	突発性発しん	84	インフルエンザ　さらに減少
9	感染性胃腸炎	1,727	A群溶連菌咽頭炎	482	水痘	292	突発性発しん	102	流行性耳下腺炎	70	インフルエンザ　横ばい
10	感染性胃腸炎	1,618	A群溶連菌咽頭炎	496	水痘	272	突発性発しん	92	流行性耳下腺炎	65	インフルエンザ　減少
11	感染性胃腸炎	1,591	A群溶連菌咽頭炎	451	水痘	337	突発性発しん	100	流行性耳下腺炎	100	インフルエンザ　減少続く
12	感染性胃腸炎	1,522	A群溶連菌咽頭炎	395	水痘	281	突発性発しん	106	流行性耳下腺炎	101	インフルエンザ　大幅に減少
13	感染性胃腸炎	1,489	水痘	365	A群溶連菌咽頭炎	359	突発性発しん	98	流行性耳下腺炎	78	インフルエンザ　終息へ
14	感染性胃腸炎	1,572	A群溶連菌咽頭炎	316	水痘	289	突発性発しん	110	流行性耳下腺炎	105	インフルエンザ　終息
15	感染性胃腸炎	2,059	A群溶連菌咽頭炎	328	水痘	288	突発性発しん	102	流行性耳下腺炎	98	感染性胃腸炎　増加
16	感染性胃腸炎	2,353	A群溶連菌咽頭炎	382	水痘	273	突発性発しん	133	流行性耳下腺炎	91	感染性胃腸炎　さらに増加
17	感染性胃腸炎	2,211	A群溶連菌咽頭炎	410	水痘	276	突発性発しん	138	流行性耳下腺炎	94	A群溶連菌咽頭炎　増加
18	感染性胃腸炎	2,011	A群溶連菌咽頭炎	372	水痘	273	突発性発しん	107	流行性耳下腺炎	84	インフルエンザ　くすぶる
19	感染性胃腸炎	1,400	水痘	260	A群溶連菌咽頭炎	259	突発性発しん	77	流行性耳下腺炎	70	
20	感染性胃腸炎	1,621	A群溶連菌咽頭炎	425	水痘	385	流行性耳下腺炎	125	突発性発しん	99	新型インフルエンザA(H1N1)集団発生
21	感染性胃腸炎	1,374	A群溶連菌咽頭炎	411	水痘	333	突発性発しん	117	流行性耳下腺炎	83	季節性インフルエンザ　増加
22	感染性胃腸炎	1,093	水痘	399	A群溶連菌咽頭炎	378	流行性耳下腺炎	114	突発性発しん	108	感染性胃腸炎　減少
23	感染性胃腸炎	1,121	A群溶連菌咽頭炎	431	水痘	314	流行性耳下腺炎	147	突発性発しん	135	流行性耳下腺炎　増加
24	感染性胃腸炎	970	A群溶連菌咽頭炎	450	水痘	334	流行性耳下腺炎	132	突発性発しん	127	感染性胃腸炎　やや減少
25	感染性胃腸炎	842	A群溶連菌咽頭炎	382	水痘	289	流行性耳下腺炎	153	ヘルパンギーナ	150	ヘルパンギーナ　増加
26	感染性胃腸炎	802	水痘	303	A群溶連菌咽頭炎	286	ヘルパンギーナ	226	突発性発しん	166	ヘルパンギーナ　さらに増加
27	感染性胃腸炎	812	ヘルパンギーナ	502	A群溶連菌咽頭炎	246	水痘	206	流行性耳下腺炎	157	ヘルパンギーナ　倍増
28	ヘルパンギーナ	1,049	感染性胃腸炎	787	A群溶連菌咽頭炎	259	水痘	204	流行性耳下腺炎	198	ヘルパンギーナ　第1位に
29	ヘルパンギーナ	1,257	感染性胃腸炎	627	A群溶連菌咽頭炎	218	流行性耳下腺炎	172	突発性発しん	155	ヘルパンギーナ増加続く
30	ヘルパンギーナ	1,093	感染性胃腸炎	641	流行性耳下腺炎	174	手足口病	173	水痘	164	ヘルパンギーナ　峠越える
31	ヘルパンギーナ	955	感染性胃腸炎	683	流行性耳下腺炎	164	手足口病	157	水痘	141	インフルエンザ　増加
32	ヘルパンギーナ	796	感染性胃腸炎	637	流行性耳下腺炎	173	水痘	151	突発性発しん	145	インフルエンザ　増加続く
33	ヘルパンギーナ	559	感染性胃腸炎	400	流行性耳下腺炎	147	水痘	125	突発性発しん	118	インフルエンザ　さらに増加
34	感染性胃腸炎	604	ヘルパンギーナ	384	流行性耳下腺炎	158	水痘	150	A群溶連菌咽頭炎	112	新型インフルエンザ　流行期に
35	感染性胃腸炎	621	ヘルパンギーナ	276	流行性耳下腺炎	154	突発性発しん	130	水痘	123	新型インフルエンザ　増加続く
36	感染性胃腸炎	653	ヘルパンギーナ	233	流行性耳下腺炎	136	突発性発しん	116	水痘	116	新型インフルエンザ　感染拡大
37	感染性胃腸炎	539	ヘルパンギーナ	209	流行性耳下腺炎	134	突発性発しん	124	水痘	119	新型インフルエンザ　さらに増加
38	感染性胃腸炎	557	流行性耳下腺炎	152	A群溶連菌咽頭炎	140	ヘルパンギーナ	106	突発性発しん	99	新型インフルエンザ　横ばい
39	感染性胃腸炎	483	水痘	138	流行性耳下腺炎	126	A群溶連菌咽頭炎	71	突発性発しん	71	
40	感染性胃腸炎	519	流行性耳下腺炎	164	水痘	128	A群溶連菌咽頭炎	127	突発性発しん	108	新型インフルエンザ　小康状態
41	感染性胃腸炎	531	流行性耳下腺炎	161	A群溶連菌咽頭炎	149	突発性発しん	101	水痘	90	新型インフルエンザ　大幅に増加
42	感染性胃腸炎	462	流行性耳下腺炎	129	A群溶連菌咽頭炎	122	水痘	105	突発性発しん	93	新型インフルエンザ　流行続く
43	感染性胃腸炎	521	A群溶連菌咽頭炎	173	流行性耳下腺炎	165	水痘	142	突発性発しん	90	新型インフルエンザ　警報レベル間近
44	感染性胃腸炎	508	A群溶連菌咽頭炎	193	水痘	128	流行性耳下腺炎	118	RSウイルス感染症	84	新型インフルエンザ警報レベル超える
45	感染性胃腸炎	496	水痘	177	A群溶連菌咽頭炎	157	流行性耳下腺炎	136	突発性発しん	84	新型インフルエンザ　やや減少
46	感染性胃腸炎	617	水痘	215	A群溶連菌咽頭炎	212	流行性耳下腺炎	167	RSウイルス感染症	127	新型インフルエンザピークを越える？
47	感染性胃腸炎	618	水痘	208	A群溶連菌咽頭炎	192	RSウイルス感染症	137	流行性耳下腺炎	102	新型インフルエンザ　わずかに減少
48	感染性胃腸炎	670	水痘	244	RSウイルス感染症	208	流行性耳下腺炎	158	A群溶連菌咽頭炎	157	新型インフルエンザ　再び増加
49	感染性胃腸炎	947	RSウイルス感染症	255	水痘	236	A群溶連菌咽頭炎	229	流行性耳下腺炎	152	新型インフルエンザ　減少
50	感染性胃腸炎	1,189	RSウイルス感染症	331	水痘	290	A群溶連菌咽頭炎	222	流行性耳下腺炎	187	新型インフルエンザ　微減
51	感染性胃腸炎	1,589	RSウイルス感染症	442	水痘	298	A群溶連菌咽頭炎	241	流行性耳下腺炎	150	新型インフルエンザ　減少
52	感染性胃腸炎	1,729	RSウイルス感染症	439	水痘	297	A群溶連菌咽頭炎	215	流行性耳下腺炎	166	新型インフルエンザ　減少続く
53	感染性胃腸炎	824	RSウイルス感染症	354	水痘	216	A群溶連菌咽頭炎	86	流行性耳下腺炎	66	

注1：疾患名は小児科定点の対象疾患です。　　注2：週遅れデータは含まれていません。

注3：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶連菌咽頭炎と表示しています。

平成 21 年 感染症別・週別報告状況（全国集計）

	1月					2月				3月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週
インフルエンザ	24,724	57,224	100,031	179,411	171,160	118,402	80,349	57,809	64,712	71,310	79,124	74,731	44,773
ＲＳウイルス感染症	1,024	1,391	731	649	641	496	436	418	395	394	478	403	403
咽頭結膜熱	630	971	536	634	525	689	659	720	707	791	798	718	753
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,836	4,334	4,737	6,238	6,390	6,478	6,273	6,524	7,569	8,079	8,069	7,044	5,827
感染性胃腸炎	14,211	30,845	24,945	26,005	23,342	21,413	19,652	21,431	22,893	24,195	25,493	22,763	20,543
水痘	4,147	9,114	4,690	5,688	4,186	5,297	4,827	5,090	4,866	4,980	5,433	4,994	5,637
手足口病	211	293	253	224	242	238	248	209	227	219	194	206	180
伝染性紅斑	83	269	286	283	268	245	235	204	243	246	265	326	278
突発性発疹	612	1,765	1,726	1,639	1,682	1,576	1,510	1,672	1,694	1,611	1,731	1,674	1,765
百日咳	19	72	78	74	88	70	81	101	104	86	97	88	132
ヘルパンギーナ	48	71	60	56	49	53	48	49	75	78	87	99	96
流行性耳下腺炎	723	2,148	1,341	1,062	1,375	1,163	1,274	1,545	1,465	1,603	1,768	1,774	1,940
急性出血性結膜炎	4	14	10	12	12	15	14	9	7	5	6	5	11
流行性角結膜炎	123	494	359	330	322	295	287	290	327	318	303	293	326
細菌性髄膜炎	8	9	6	8	13	11	12	14	10	4	4	7	9
無菌性髄膜炎	10	15	8	4	8	5	4	13	10	8	12	12	18
マイコプラズマ肺炎	80	174	138	153	158	148	140	122	134	143	182	187	195
クラミジア肺炎	3	15	11	13	8	15	8	9	11	9	8	10	13

	7月					8月				9月			
	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
インフルエンザ	752	978	1,044	1,321	2,672	4,670	7,860	11,707	12,045	12,567	15,484	23,762	20,705
ＲＳウイルス感染症	177	160	168	179	193	253	254	303	331	452	448	485	292
咽頭結膜熱	1,099	1,217	1,205	963	916	739	537	572	525	477	412	318	176
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4,479	4,147	3,642	2,627	2,217	1,843	1,288	1,550	1,687	1,740	1,849	2,078	1,144
感染性胃腸炎	11,480	11,053	10,201	8,658	9,233	8,883	6,498	8,877	8,294	8,658	8,090	7,619	5,355
水痘	3,932	3,247	3,299	2,334	2,329	1,883	1,552	1,682	1,277	1,267	1,390	1,196	1,329
手足口病	1,990	3,311	4,417	4,544	5,111	5,170	3,648	3,863	3,423	3,071	2,697	2,225	1,229
伝染性紅斑	629	729	618	424	443	417	213	297	281	248	235	203	119
突発性発疹	2,391	2,475	2,480	2,091	2,280	2,249	1,640	2,107	2,123	2,099	1,958	1,761	1,205
百日咳	147	127	128	135	122	109	54	82	77	93	106	66	47
ヘルパンギーナ	3,003	5,236	7,612	6,916	7,915	7,458	5,310	4,743	4,369	3,726	3,172	2,168	911
流行性耳下腺炎	2,559	2,683	2,718	2,487	2,746	2,554	1,998	2,420	2,181	1,899	2,100	2,064	1,644
急性出血性結膜炎	6	10	13	11	12	4	5	5	14	10	8	22	6
流行性角結膜炎	371	378	373	327	373	437	313	461	358	339	359	334	235
細菌性髄膜炎	8	12	15	6	4	9	9	9	8	8	8	7	7
無菌性髄膜炎	7	14	18	16	27	19	27	14	15	21	19	8	13
マイコプラズマ肺炎	207	182	165	162	148	168	179	154	146	163	164	163	117
クラミジア肺炎	6	5	9	12	8	7	10	15	6	10	4	13	9

4月					5月				6月			
14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
29,163	19,324	19,533	16,691	15,063	8,009	5,122	5,947	3,368	1,924	1,378	1,117	928
355	358	346	294	283	207	210	241	219	175	204	168	169
647	658	677	875	853	631	970	977	1,014	1,079	1,183	1,219	1,183
4,691	4,874	5,755	6,509	6,141	3,584	6,140	6,958	6,527	7,099	6,870	6,031	5,269
20,775	23,372	25,577	26,001	25,174	16,861	21,167	20,554	17,467	17,185	15,223	13,411	12,299
4,942	5,020	4,424	4,717	4,905	4,949	5,961	5,320	5,751	4,902	5,571	4,837	4,663
205	237	231	294	277	165	309	453	471	634	824	1,091	1,438
380	451	358	410	464	251	508	641	480	626	638	655	673
1,785	2,084	2,184	2,145	1,828	1,292	2,049	2,086	2,051	2,063	2,127	2,225	2,256
95	116	163	123	145	89	207	163	161	164	148	150	158
85	126	139	188	192	125	278	364	472	578	876	1,232	1,862
1,748	1,780	1,821	1,624	1,674	1,473	2,049	1,984	2,091	2,342	2,213	2,608	2,602
12	11	10	18	14	7	8	8	8	11	2	5	18
310	318	356	348	340	271	384	347	347	336	343	433	361
14	17	8	9	12	9	13	8	7	8	10	1	10
9	6	17	17	19	13	12	11	11	8	13	12	11
147	159	206	180	172	180	194	200	240	210	222	224	219
7	8	9	13	14	1	13	12	11	11	10	13	13

10月					11月				12月					合計
40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
31,005	62,952	85,502	119,395	160,579	158,005	169,611	186,832	191,154	153,355	132,064	108,115	94,392	48,227	3,068,082
347	511	548	563	625	658	892	1,146	1,330	1,834	2,375	3,175	3,529	2,696	35,012
245	225	219	253	228	236	274	326	313	398	403	476	418	262	34,529
1,983	2,362	1,990	2,508	2,615	2,226	2,595	2,584	2,491	2,964	3,224	3,417	3,106	1,530	221,732
7,207	7,166	6,281	7,209	7,377	7,136	8,143	8,646	8,812	11,883	14,568	19,013	22,452	13,204	814,793
1,650	1,204	1,631	1,946	2,062	2,653	2,835	3,175	3,387	4,089	4,061	4,659	4,465	3,287	202,732
1,311	1,812	1,659	1,332	1,264	1,063	959	1,033	859	700	774	699	592	249	68,578
160	170	184	197	178	187	194	205	197	209	257	220	210	91	17,281
1,839	1,697	1,542	1,578	1,492	1,502	1,551	1,451	1,285	1,561	1,570	1,613	1,492	849	94,713
79	63	57	69	67	51	74	83	76	76	93	71	58	26	5,208
1,044	1,208	764	606	446	314	257	242	173	174	168	133	152	60	75,666
2,232	2,014	1,696	2,570	1,854	2,000	2,464	1,835	2,099	2,282	2,250	2,370	2,299	1,360	104,568
8	7	9	12	2	4	11	8	9	9	10	15	10	7	503
310	271	243	276	279	273	230	274	223	262	255	273	255	102	16,745
11	5	7	4	13	8	7	12	10	10	11	8	11	8	476
21	12	10	14	7	10	5	11	9	6	9	7	12	4	641
141	119	156	171	136	144	118	131	111	150	151	137	98	72	8,460
9	11	13	10	11	18	13	14	16	11	12	13	10	4	547

平成 21 年 感染症別・週別定点あたり（全国集計）

	1月					2月				3月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週
インフルエンザ	5.44	12.00	20.88	37.48	35.70	24.71	16.76	12.05	13.50	14.87	16.50	15.63	9.37
ＲＳウイルス感染症	0.36	0.46	0.24	0.21	0.21	0.16	0.14	0.14	0.13	0.13	0.16	0.13	0.13
咽頭結膜熱	0.22	0.32	0.18	0.21	0.17	0.23	0.22	0.24	0.23	0.26	0.26	0.24	0.25
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.64	1.44	1.56	2.06	2.11	2.14	2.07	2.15	2.50	2.66	2.66	2.32	1.93
感染性胃腸炎	4.98	10.23	8.24	8.59	7.70	7.06	6.49	7.05	7.55	7.97	8.41	7.51	6.79
水痘	1.45	3.02	1.55	1.88	1.38	1.75	1.59	1.68	1.61	1.64	1.79	1.65	1.86
手足口病	0.07	0.10	0.08	0.07	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.06	0.07	0.06
伝染性紅斑	0.03	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	0.07	0.08	0.08	0.09	0.11	0.09
突発性発疹	0.21	0.59	0.57	0.54	0.55	0.52	0.50	0.55	0.56	0.53	0.57	0.55	0.58
百日咳	0.01	0.02	0.03	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03
流行性耳下腺炎	0.25	0.71	0.44	0.35	0.45	0.38	0.42	0.51	0.48	0.53	0.58	0.59	0.64
急性出血性結膜炎	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02
流行性角結膜炎	0.20	0.73	0.53	0.49	0.48	0.44	0.43	0.43	0.48	0.47	0.45	0.43	0.48
細菌性髄膜炎	0.02	0.02	0.01	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02
無菌性髄膜炎	0.02	0.03	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.04
マイコプラズマ肺炎	0.17	0.37	0.30	0.33	0.34	0.32	0.30	0.26	0.29	0.31	0.39	0.40	0.42
クラミジア肺炎	0.01	0.03	0.02	0.03	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03

	7月					8月				9月			
	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
インフルエンザ	0.16	0.21	0.22	0.28	0.56	0.99	1.70	2.48	2.53	2.62	3.22	5.01	4.31
ＲＳウイルス感染症	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06	0.08	0.09	0.10	0.11	0.15	0.15	0.16	0.10
咽頭結膜熱	0.36	0.40	0.40	0.32	0.30	0.25	0.18	0.19	0.17	0.16	0.14	0.11	0.06
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.48	1.37	1.21	0.87	0.73	0.61	0.44	0.52	0.56	0.57	0.61	0.69	0.38
感染性胃腸炎	3.79	3.65	3.38	2.86	3.05	2.95	2.23	2.97	2.74	2.85	2.66	2.54	1.77
水痘	1.30	1.07	1.09	0.77	0.77	0.63	0.53	0.56	0.42	0.42	0.46	0.40	0.44
手足口病	0.66	1.09	1.46	1.50	1.69	1.72	1.25	1.29	1.13	1.01	0.89	0.74	0.41
伝染性紅斑	0.21	0.24	0.20	0.14	0.15	0.14	0.07	0.10	0.09	0.08	0.08	0.07	0.04
突発性発疹	0.79	0.82	0.82	0.69	0.75	0.75	0.56	0.71	0.70	0.69	0.64	0.59	0.40
百日咳	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02
ヘルパンギーナ	0.99	1.73	2.52	2.28	2.61	2.48	1.82	1.59	1.44	1.23	1.04	0.72	0.30
流行性耳下腺炎	0.85	0.89	0.90	0.82	0.91	0.85	0.69	0.81	0.72	0.63	0.69	0.69	0.54
急性出血性結膜炎	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.03	0.01
流行性角結膜炎	0.55	0.56	0.55	0.48	0.55	0.66	0.47	0.68	0.53	0.50	0.53	0.50	0.35
細菌性髄膜炎	0.02	0.03	0.03	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
無菌性髄膜炎	0.02	0.03	0.04	0.03	0.06	0.04	0.06	0.03	0.03	0.05	0.04	0.02	0.03
マイコプラズマ肺炎	0.45	0.39	0.36	0.35	0.32	0.36	0.38	0.33	0.31	0.35	0.35	0.35	0.25
クラミジア肺炎	0.01	0.01	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.01	0.02	0.01	0.03	0.02

4月					5月				6月			
14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
6.10	4.05	4.10	3.51	3.21	1.69	1.08	1.26	0.71	0.41	0.29	0.23	0.20
0.12	0.12	0.11	0.10	0.09	0.07	0.07	0.08	0.07	0.06	0.07	0.06	0.06
0.21	0.22	0.22	0.29	0.29	0.21	0.32	0.32	0.33	0.36	0.39	0.40	0.39
1.55	1.61	1.91	2.15	2.06	1.18	2.03	2.30	2.15	2.34	2.27	1.99	1.74
6.85	7.71	8.47	8.60	8.44	5.57	6.98	6.80	5.76	5.67	5.02	4.43	4.05
1.63	1.66	1.46	1.56	1.64	1.64	1.97	1.76	1.90	1.62	1.84	1.60	1.54
0.07	0.08	0.08	0.10	0.09	0.05	0.10	0.15	0.16	0.21	0.27	0.36	0.47
0.13	0.15	0.12	0.14	0.16	0.08	0.17	0.21	0.16	0.21	0.21	0.22	0.22
0.59	0.69	0.72	0.71	0.61	0.43	0.68	0.69	0.68	0.68	0.70	0.73	0.74
0.03	0.04	0.05	0.04	0.05	0.03	0.07	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
0.03	0.04	0.05	0.06	0.06	0.04	0.09	0.12	0.16	0.19	0.29	0.41	0.61
0.58	0.59	0.60	0.54	0.56	0.49	0.68	0.66	0.69	0.77	0.73	0.86	0.86
0.02	0.02	0.01	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.00	0.01	0.03
0.46	0.47	0.52	0.51	0.52	0.40	0.56	0.51	0.51	0.49	0.50	0.64	0.53
0.03	0.04	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.00	0.02
0.02	0.01	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02
0.32	0.34	0.44	0.39	0.37	0.39	0.42	0.43	0.52	0.45	0.48	0.48	0.47
0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.00	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03

10月					11月				12月					平均
40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
6.44	13.13	17.74	24.77	33.38	32.79	35.20	38.87	39.66	31.84	27.39	22.43	19.62	10.20	12.14
0.11	0.17	0.18	0.19	0.21	0.22	0.29	0.38	0.44	0.60	0.78	1.04	1.16	0.90	0.22
0.08	0.07	0.07	0.08	0.08	0.08	0.09	0.11	0.10	0.13	0.13	0.16	0.14	0.09	0.22
0.65	0.78	0.65	0.82	0.86	0.73	0.85	0.85	0.82	0.97	1.06	1.12	1.02	0.51	1.38
2.37	2.36	2.06	2.37	2.44	2.35	2.68	2.86	2.89	3.91	4.79	6.25	7.39	4.42	5.09
0.54	0.40	0.54	0.64	0.68	0.87	0.93	1.05	1.11	1.34	1.33	1.53	1.47	1.10	1.27
0.43	0.60	0.55	0.44	0.42	0.35	0.32	0.34	0.28	0.23	0.25	0.23	0.19	0.08	0.43
0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06	0.07	0.08	0.07	0.07	0.03	0.11
0.60	0.56	0.51	0.52	0.49	0.49	0.51	0.48	0.42	0.51	0.52	0.53	0.49	0.28	0.59
0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.01	0.03
0.34	0.40	0.25	0.20	0.15	0.10	0.08	0.08	0.06	0.06	0.06	0.04	0.05	0.02	0.47
0.73	0.66	0.56	0.84	0.61	0.66	0.81	0.61	0.69	0.75	0.74	0.78	0.76	0.46	0.65
0.01	0.01	0.01	0.02	0.00	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01
0.46	0.40	0.36	0.41	0.41	0.40	0.34	0.41	0.33	0.39	0.38	0.40	0.38	0.16	0.47
0.02	0.01	0.02	0.01	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
0.05	0.03	0.02	0.03	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.03	0.01	0.03
0.30	0.26	0.34	0.37	0.30	0.31	0.25	0.28	0.24	0.32	0.33	0.30	0.21	0.15	0.34
0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03	0.02	0.01	0.02

平成 21 年 感染症別・週別報告状況（大阪府内集計）

		1月					2月				3月			
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週
	*1 インフル定点	302	302	302	302	303	303	303	303	306	306	306	306	306
	*2 小児科定点	195	195	195	195	196	196	196	196	199	199	199	199	199
	*3 眼科定点	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
	*4 基幹定点	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
*1	インフルエンザ	1,521	3,789	5,343	9,219	9,568	7,205	6,285	4,798	4,918	4,422	3,883	2,890	1,351
	RSウイルス感染症	76	116	52	72	81	70	57	47	53	61	64	46	69
	咽頭結膜熱	31	41	23	36	14	28	24	36	14	31	22	24	27
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	119	308	317	438	446	435	426	462	482	503	465	395	359
	感染性胃腸炎	935	1,895	1,561	1,660	1,596	1,390	1,350	1,467	1,739	1,634	1,668	1,529	1,497
	水痘	188	433	267	306	255	261	257	283	292	284	348	281	366
*2	手足口病	2	13	9	3	2	8	8	5	4	10	5	5	5
	伝染性紅斑	5	8	19	25	20	15	19	32	23	18	24	21	27
	突発性発しん	32	106	111	88	103	78	70	84	102	92	104	106	98
	百日咳	2	0	4	7	3	4	8	6	5	4	2	2	10
	ヘルパンギーナ	1	4	3	1	1	0	1	3	6	5	1	7	4
	流行性耳下腺炎	34	104	83	54	71	79	58	88	70	69	106	101	78
*3	急性出血性結膜炎	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	1	0	0
	流行性角結膜炎	0	17	15	11	3	6	7	8	10	5	6	12	12
合計（*1～*3）		2,946	6,834	7,807	11,922	12,163	9,579	8,572	7,320	7,718	7,139	6,699	5,419	3,903
*4	細菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
	無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎	5	9	14	7	7	7	6	7	6	9	10	10	8
	クラミジア肺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計（*4）		7	10	14	7	7	8	7	8	6	9	10	13	12

		7月					8月				9月			
		27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
	*1 インフル定点	304	304	304	304	304	305	305	305	305	304	305	305	305
	*2 小児科定点	198	198	198	198	198	199	199	199	199	199	199	199	199
	*3 眼科定点	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
	*4 基幹定点	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
*1	インフルエンザ	27	81	118	220	475	511	600	803	912	1,228	1,568	2,850	2,765
	RSウイルス感染症	41	24	19	25	28	37	50	58	32	59	59	56	52
	咽頭結膜熱	43	51	38	66	38	28	11	16	12	31	9	10	3
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	246	259	219	138	132	133	97	113	115	100	117	140	72
	感染性胃腸炎	815	788	660	641	692	641	408	623	639	654	539	562	490
	水痘	208	204	159	164	145	152	130	153	125	116	119	98	138
*2	手足口病	69	122	154	173	160	132	106	87	91	76	58	55	34
	伝染性紅斑	35	35	35	24	25	26	7	9	19	9	15	5	7
	突発性発しん	143	175	166	123	133	146	119	94	130	116	124	99	71
	百日咳	5	3	4	9	2	2	5	8	2	4	4	2	2
	ヘルパンギーナ	505	1,049	1,260	1,098	971	801	567	393	281	233	209	110	61
	流行性耳下腺炎	160	198	191	175	166	177	148	166	160	136	134	152	127
*3	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0
	流行性角結膜炎	7	15	8	12	10	13	19	10	8	8	12	6	6
合計（*1～*3）		2,304	3,004	3,031	2,868	2,977	2,799	2,267	2,533	2,526	2,770	2,968	4,148	3,828
*4	細菌性髄膜炎	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	マイコプラズマ肺炎	8	11	2	3	5	5	7	3	5	5	6	4	7
	クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
合計（*4）		8	11	2	4	6	6	8	5	5	6	7	5	8

4月					5月				6月			
14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
301	301	303	303	302	302	302	302	302	302	304	304	303
196	196	196	196	195	195	195	195	195	195	197	197	197
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
765	447	307	207	214	126	136	239	75	34	22	11	14
53	58	62	58	60	51	61	56	57	33	46	32	39
17	26	18	33	40	26	49	33	48	41	54	54	51
317	328	383	412	397	259	426	413	378	435	462	384	286
1,596	2,059	2,371	2,248	2,202	1,400	1,649	1,382	1,103	1,134	994	843	802
291	288	274	278	296	260	393	333	400	317	354	291	303
4	8	16	8	9	7	17	22	35	17	24	35	55
30	42	29	29	22	9	48	38	44	62	40	43	49
110	102	134	138	113	77	99	117	108	135	129	141	166
5	5	5	10	7	7	13	7	7	5	6	8	1
7	10	17	21	8	5	23	34	50	59	78	151	226
105	98	92	96	89	70	125	83	114	151	137	153	145
1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0
7	2	6	8	7	1	6	3	10	3	14	12	7
3,308	3,473	3,714	3,547	3,464	2,299	3,045	2,761	2,430	2,426	2,360	2,158	2,144
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
4	4	10	5	5	10	4	10	8	4	9	8	5
0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0
4	4	10	5	6	10	5	12	9	4	11	8	7

10月					11月				12月					合計
40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	304	
199	199	199	199	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
2,649	5,394	7,117	8,543	10,953	9,117	8,293	7,938	8,365	6,529	6,207	4,960	4,580	2,173	172,765
52	51	80	76	99	69	127	137	208	255	331	442	439	369	4,805
13	15	24	15	16	10	9	26	14	25	25	28	20	16	1,453
127	155	122	173	197	157	212	194	157	229	222	241	215	92	14,409
519	547	462	526	547	496	617	625	670	947	1,189	1,589	1,732	871	59,193
128	90	105	142	142	177	215	209	244	236	290	298	297	221	12,604
41	34	30	21	21	32	36	33	25	30	31	39	50	14	2,090
14	9	4	4	4	6	6	5	5	16	11	6	9	4	1,095
109	104	93	90	76	84	92	74	67	109	101	102	87	48	5,618
2	2	5	2	7	2	12	2	3	5	4	3	2	1	247
53	42	38	23	19	9	11	7	6	5	13	8	12	7	8,517
165	163	129	165	126	136	167	107	158	152	187	150	166	70	6,584
0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	0	0	22
15	10	11	12	13	13	5	14	9	12	8	15	9	3	481
3,887	6,616	8,220	9,792	12,220	10,309	9,803	9,373	9,931	8,550	8,620	7,882	7,618	3,889	289,883
0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	1	2	1	23
1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	12
8	3	6	16	13	11	5	7	7	8	3	9	3	4	365
0	0	0	0	3	2	1	1	3	2	0	1	1	0	25
9	3	6	16	17	13	6	10	12	12	4	11	7	5	425

平成 21 年感染症別・週別定点あたり報告状況（大阪府内集計）

		1月					2月				3月			
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週
	*1 インフル定点	302	302	302	302	303	303	303	303	306	306	306	306	306
	*2 小児科定点	195	195	195	195	196	196	196	196	199	199	199	199	199
	*3 眼科定点	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
	*4 基幹定点	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
*1	インフルエンザ	5.04	12.55	17.69	30.53	31.58	23.78	20.74	15.83	16.07	14.45	12.69	9.44	4.42
*2	RSウイルス感染症	0.39	0.59	0.27	0.37	0.41	0.36	0.29	0.24	0.27	0.31	0.32	0.23	0.35
	咽頭結膜熱	0.16	0.21	0.12	0.18	0.07	0.14	0.12	0.18	0.07	0.16	0.11	0.12	0.14
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	0.61	1.58	1.63	2.25	2.28	2.22	2.17	2.36	2.42	2.53	2.34	1.98	1.80
	感染性胃腸炎	4.79	9.72	8.01	8.51	8.14	7.09	6.89	7.48	8.74	8.21	8.38	7.68	7.52
	水痘	0.96	2.22	1.37	1.57	1.30	1.33	1.31	1.44	1.47	1.43	1.75	1.41	1.84
	手足口病	0.01	0.07	0.05	0.02	0.01	0.04	0.04	0.03	0.02	0.05	0.03	0.03	0.03
	伝染性紅斑	0.03	0.04	0.10	0.13	0.10	0.08	0.10	0.16	0.12	0.09	0.12	0.11	0.14
	突発性発しん	0.16	0.54	0.57	0.45	0.53	0.40	0.36	0.43	0.51	0.46	0.52	0.53	0.49
	百日咳	0.01	0.00	0.02	0.04	0.02	0.02	0.04	0.03	0.03	0.02	0.01	0.01	0.05
	ヘルパンギーナ	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.00	0.01	0.02	0.03	0.03	0.01	0.04	0.02
	流行性耳下腺炎	0.17	0.53	0.43	0.28	0.36	0.40	0.30	0.45	0.35	0.35	0.53	0.51	0.39
*3	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00	0.04	0.02	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00
	流行性角結膜炎	0.00	0.33	0.29	0.21	0.06	0.12	0.13	0.15	0.19	0.10	0.12	0.23	0.23
*4	細菌性髄膜炎	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.06
	無菌性髄膜炎	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06
	マイコプラズマ肺炎	0.31	0.56	0.88	0.44	0.44	0.44	0.38	0.44	0.38	0.56	0.63	0.63	0.50
	クラミジア肺炎	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.13

		7月					8月				9月			
		27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週
	*1インフル定点	304	304	304	304	304	305	305	305	305	304	305	305	305
	*2小児科定点	198	198	198	198	198	199	199	199	199	199	199	199	199
	*3眼科定点	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
	*4基幹定点	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
*1	インフルエンザ	0.09	0.27	0.39	0.72	1.56	1.68	1.97	2.63	2.99	4.04	5.14	9.34	9.07
*2	RSウイルス感染症	0.21	0.12	0.10	0.13	0.14	0.19	0.25	0.29	0.16	0.30	0.30	0.28	0.26
	咽頭結膜熱	0.22	0.26	0.19	0.33	0.19	0.14	0.06	0.08	0.06	0.16	0.05	0.05	0.02
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	1.24	1.31	1.11	0.70	0.67	0.67	0.49	0.57	0.58	0.50	0.59	0.70	0.36
	感染性胃腸炎	4.12	3.98	3.33	3.24	3.49	3.22	2.05	3.13	3.21	3.29	2.71	2.82	2.46
	水痘	1.05	1.03	0.80	0.83	0.73	0.76	0.65	0.77	0.63	0.58	0.60	0.49	0.69
	手足口病	0.35	0.62	0.78	0.87	0.81	0.66	0.53	0.44	0.46	0.38	0.29	0.28	0.17
	伝染性紅斑	0.18	0.18	0.18	0.12	0.13	0.13	0.04	0.05	0.10	0.05	0.08	0.03	0.04
	突発性発しん	0.72	0.88	0.84	0.62	0.67	0.73	0.60	0.47	0.65	0.58	0.62	0.50	0.36
	百日咳	0.03	0.02	0.02	0.05	0.01	0.01	0.03	0.04	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01
	ヘルパンギーナ	2.55	5.30	6.36	5.55	4.90	4.03	2.85	1.97	1.41	1.17	1.05	0.55	0.31
	流行性耳下腺炎	0.81	1.00	0.96	0.88	0.84	0.89	0.74	0.83	0.80	0.68	0.67	0.76	0.64
*3	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.06	0.00
	流行性角結膜炎	0.13	0.29	0.15	0.23	0.19	0.25	0.37	0.19	0.15	0.15	0.23	0.12	0.12
*4	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00
	マイコプラズマ肺炎	0.50	0.69	0.13	0.19	0.31	0.31	0.44	0.19	0.31	0.31	0.38	0.25	0.44
	クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.06	0.06

4月					5月				6月			
14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
301	301	303	303	302	302	302	302	302	302	304	304	303
196	196	196	196	195	195	195	195	195	195	197	197	197
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
2.54	1.49	1.01	0.68	0.71	0.42	0.45	0.79	0.25	0.11	0.07	0.04	0.05
0.27	0.30	0.32	0.30	0.31	0.26	0.31	0.29	0.29	0.17	0.23	0.16	0.20
0.09	0.13	0.09	0.17	0.21	0.13	0.25	0.17	0.25	0.21	0.27	0.27	0.26
1.62	1.67	1.95	2.10	2.04	1.33	2.18	2.12	1.94	2.23	2.35	1.95	1.45
8.14	10.51	12.10	11.47	11.29	7.18	8.46	7.09	5.66	5.82	5.05	4.28	4.07
1.48	1.47	1.40	1.42	1.52	1.33	2.02	1.71	2.05	1.63	1.80	1.48	1.54
0.02	0.04	0.08	0.04	0.05	0.04	0.09	0.11	0.18	0.09	0.12	0.18	0.28
0.15	0.21	0.15	0.15	0.11	0.05	0.25	0.19	0.23	0.32	0.20	0.22	0.25
0.56	0.52	0.68	0.70	0.58	0.39	0.51	0.60	0.55	0.69	0.65	0.72	0.84
0.03	0.03	0.03	0.05	0.04	0.04	0.07	0.04	0.04	0.03	0.03	0.04	0.01
0.04	0.05	0.09	0.11	0.04	0.03	0.12	0.17	0.26	0.30	0.40	0.77	1.15
0.54	0.50	0.47	0.49	0.46	0.36	0.64	0.43	0.58	0.77	0.70	0.78	0.74
0.02	0.00	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
0.13	0.04	0.12	0.15	0.13	0.02	0.12	0.06	0.19	0.06	0.27	0.23	0.13
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.06
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.06	0.00	0.06
0.25	0.25	0.63	0.31	0.31	0.63	0.25	0.63	0.50	0.25	0.56	0.50	0.31
0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00

10月					11月				12月					平均
40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	304	
199	199	199	199	198	198	198	198	198	198	198	198	198	198	
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
8.69	17.69	23.33	28.01	35.91	29.89	27.19	26.03	27.43	21.41	20.35	16.26	15.02	7.15	10.72
0.26	0.26	0.40	0.38	0.50	0.35	0.64	0.69	1.05	1.29	1.67	2.23	2.22	1.86	0.46
0.07	0.08	0.12	0.08	0.08	0.05	0.05	0.13	0.07	0.13	0.13	0.14	0.10	0.08	0.14
0.64	0.78	0.61	0.87	0.99	0.79	1.07	0.98	0.79	1.16	1.12	1.22	1.09	0.46	1.38
2.61	2.75	2.32	2.64	2.76	2.51	3.12	3.16	3.38	4.78	6.01	8.03	8.75	4.40	5.66
0.64	0.45	0.53	0.71	0.72	0.89	1.09	1.06	1.23	1.19	1.46	1.51	1.50	1.12	1.20
0.21	0.17	0.15	0.11	0.11	0.16	0.18	0.17	0.13	0.15	0.16	0.20	0.25	0.07	0.20
0.07	0.05	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.08	0.06	0.03	0.05	0.02	0.10
0.55	0.52	0.47	0.45	0.38	0.42	0.46	0.37	0.34	0.55	0.51	0.52	0.44	0.24	0.54
0.01	0.01	0.03	0.01	0.04	0.01	0.06	0.01	0.02	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02
0.27	0.21	0.19	0.12	0.10	0.05	0.06	0.04	0.03	0.03	0.07	0.04	0.06	0.04	0.81
0.83	0.82	0.65	0.83	0.64	0.69	0.84	0.54	0.80	0.77	0.94	0.76	0.84	0.35	0.63
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.04	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.01
0.29	0.19	0.21	0.23	0.25	0.25	0.10	0.27	0.17	0.23	0.15	0.29	0.17	0.06	0.17
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.13	0.06	0.06	0.06	0.13	0.06	0.03
0.06	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.06	0.00	0.01
0.50	0.19	0.38	1.00	0.81	0.69	0.31	0.44	0.44	0.50	0.19	0.56	0.19	0.25	0.43
0.00	0.00	0.00	0.00	0.19	0.13	0.06	0.06	0.19	0.13	0.00	0.06	0.06	0.00	0.03

平成 21 年 感染症別・ブロック別報告状況（大阪府内集計）

	ブロック	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部	大阪市計	府内計
	*1　インフル定点	1,952	1,420	2,367	1,570	1,249	1,484	1,798	999	901	1,044	1,325	4,269	16,109
	*2　小児科定点	1,210	891	1,474	1,042	838	1,007	1,109	681	583	726	901	2,891	10,462
	*3　眼科定点	265	212	318	265	212	265	318	212	159	318	212	901	2,756
	*4 *5 基幹定点	106	106	106	106	106	106	106	106				106	848
*1	インフルエンザ	13,575	11,313	30,170	18,299	22,183	16,307	18,277	9,630	13,886	9,652	9,473	42,641	172,765
*2	RSウイルス感染症	416	829	440	687	366	237	392	696	173	272	297	1,438	4,805
	咽頭結膜熱	93	39	195	147	90	159	186	180	101	143	120	544	1,453
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	1,992	728	3,108	1,257	1,164	1,638	1,368	654	356	812	1,332	3,154	14,409
	感染性胃腸炎	3,535	3,957	10,734	8,739	8,377	3,283	7,731	2,518	3,434	3,308	3,577	12,837	59,193
	水痘	900	943	2,107	1,532	1,796	910	1,407	927	702	703	677	3,009	12,604
	手足口病	213	172	447	220	327	165	242	105	52	70	77	304	2,090
	伝染性紅斑	63	64	185	209	208	224	54	14	22	27	25	88	1,095
	突発性発しん	533	319	1,061	812	765	422	588	326	170	290	332	1,118	5,618
	百日咳	26	16	38	47	35	25	24	18	3	11	4	36	247
	ヘルパンギーナ	569	393	1,712	990	1,359	883	1,111	422	352	305	421	1,500	8,517
	流行性耳下腺炎	273	242	1,428	901	1,080	509	892	405	139	283	432	1,259	6,584
*3	急性出血性結膜炎	2	1	4	1	0	1	7	2	0	1	3	6	22
	流行性角結膜炎	44	79	50	54	16	53	33	71	9	53	19	152	481
	*1～*3合計	22,234	19,095	51,679	33,895	37,766	24,816	32,312	15,968	19,399	15,930	16,789	68,086	289,883
*4	細菌性髄膜炎	1	2	0	5	2	8	3	2				2	23
	無菌性髄膜炎	0	4	0	2	0	2	0	4				4	12
	マイコプラズマ肺炎	0	50	47	75	7	88	76	22				22	365
	クラミジア肺炎	0	4	0	0	1	18	0	2				2	25
	*4合計	1	60	47	82	10	116	79	30				30	425
*5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	267	83	16	45	69	106	130	64				64	780
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	96	2	0	25	41	65	3	0				0	232
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	4	6	0	0	0	2	1				1	13
	*5合計	363	89	22	70	110	171	135	65				65	1,025

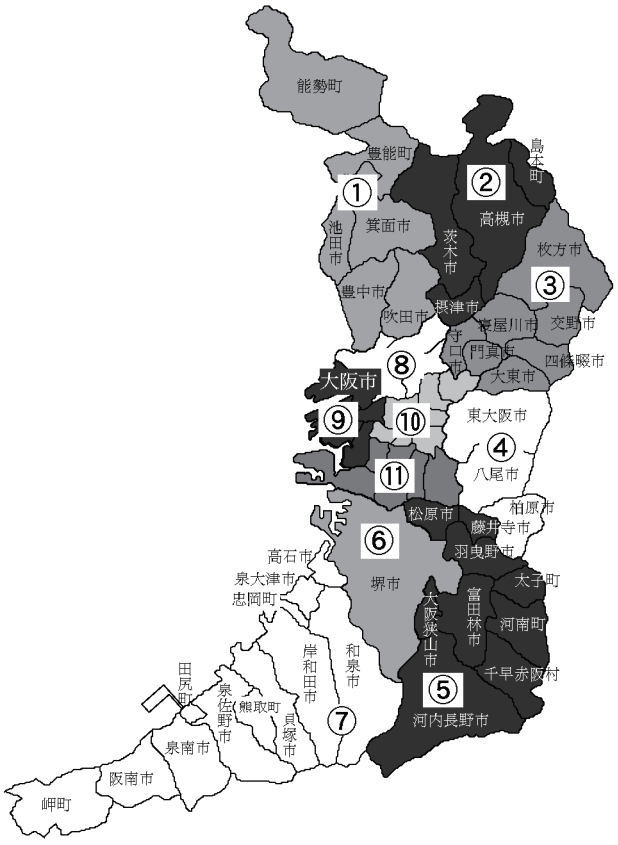
平成 21 年 感染症別・年齢別報告状況（大阪府内集計）

	年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10～	15～	20～	30～	40～	50～	60～	合計
*1	インフルエンザ	2,809	6,521	7,144	8,993	12,034	14,283	14,771	13,616	12,357	11,403	37,088	9,088	22,658					172,765
*2	RSウイルス感染症	1,864	1,502	637	360	179	99	53	22	24	20	25	2	18					4,805
	咽頭結膜熱	140	405	226	171	155	140	68	43	23	22	31	3	26					1,453
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	320	858	1,055	1,527	1,859	2,024	1,535	1,185	887	579	1,329	184	1,067					14,409
	感染性胃腸炎	4,825	9,495	7,008	6,181	5,764	4,848	3,613	2,719	2,110	1,708	4,417	986	5,519					59,193
	水痘	1,016	2,569	2,493	2,068	1,606	1,177	648	378	196	124	209	24	96					12,604
	手足口病	211	692	416	264	196	133	71	32	19	15	19	3	19					2,090
	伝染性紅斑	49	60	84	116	162	184	137	105	72	49	69	1	7					1,095
	突発性発しん	3,015	2,294	266	34	5	1	1	1	0	1	0	0	0					5,618
	百日咳	60	27	10	17	10	8	6	5	3	4	26	5	66					247
	ヘルパンギーナ	697	1,982	1,623	1,320	1,064	743	394	210	153	77	116	14	124					8,517
	流行性耳下腺炎	29	255	634	962	1,200	1,147	751	500	371	231	368	26	110					6,584
*3	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	19					22
	流行性角結膜炎	3	20	11	9	8	7	4	2	5	2	15	15	380					481
	*1～*3合計	15,038	26,680	21,607	22,022	24,242	24,795	22,052	18,818	16,220	14,235	43,712	10,353	30,109					289,883
*4	細菌性髄膜炎	7	0	4	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	7	23
	無菌性髄膜炎	2	1	1	0	0	1	2	1	0	0	1	0	1	2	0	0	0	12
	マイコプラズマ肺炎	1	24	21	35	41	30	28	25	25	23	52	7	16	10	6	2	19	365
	クラミジア肺炎	0	2	1	2	2	2	0	0	1	3	4	1	0	0	2	2	3	25
	*4合計	10	27	27	38	43	34	30	27	26	27	57	8	17	12	9	4	29	425
*5	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	36	7	6	2	1	1	3	1	2	1	6	0	11	21	31	50	601	780
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	28	74	23	12	13	8	3	0	1	0	2	0	1	5	2	5	55	232
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	13
	*5合計	64	81	29	14	14	9	6	1	3	1	8	0	12	26	33	56	668	1,025

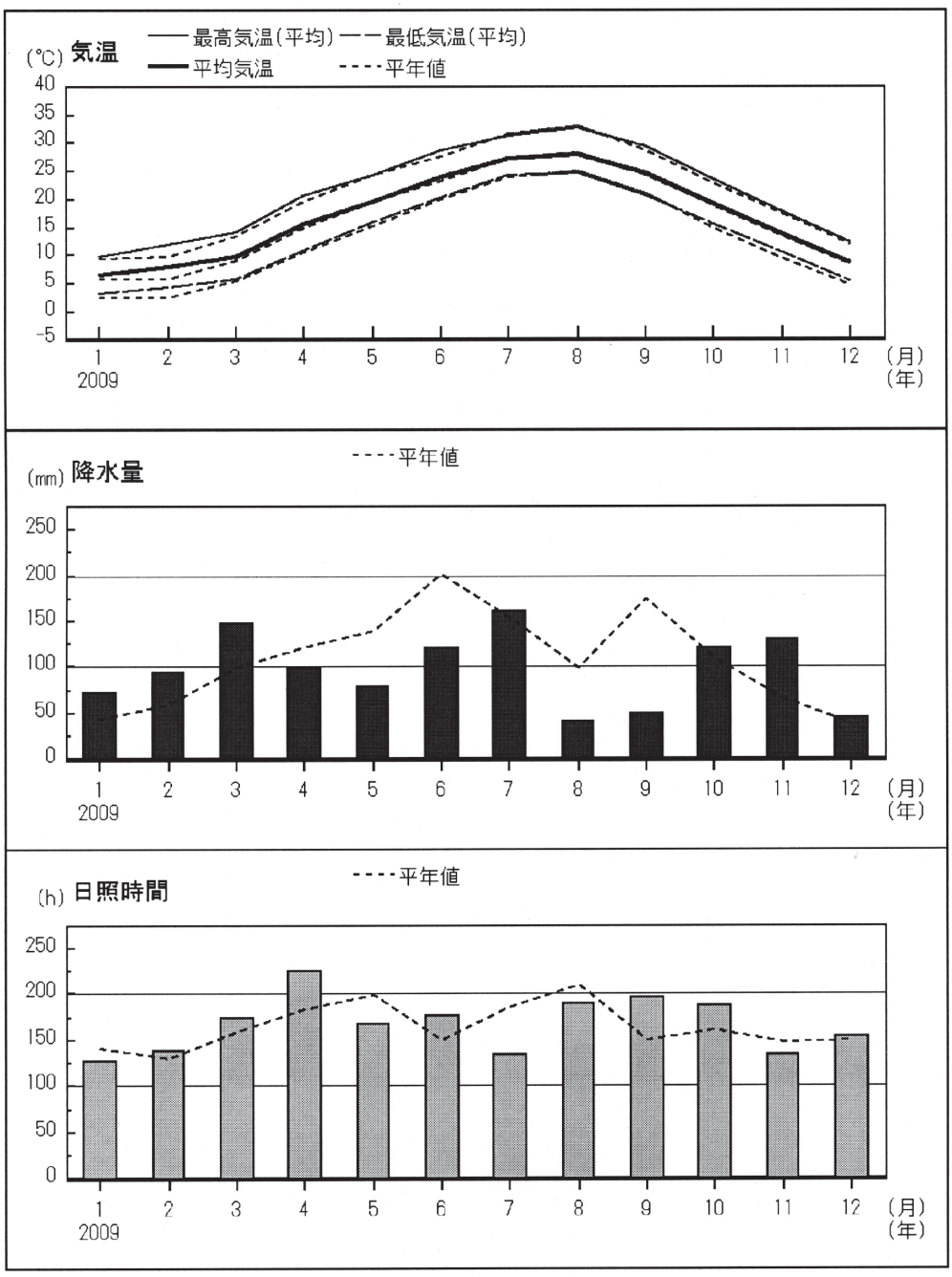
ブロック別人口動態・ブロック地図

ブロック	市　町　村　区　分	定　点　数	人　口	出生数
①豊　能	豊中市　池田市　吹田市　箕面市 能勢町　豊能町	内科 14　小児科 23　眼科 5　STD 8　基幹 2　疑似 55	1,010,621	8,701
②三　島	高槻市　茨木市　摂津市　島本町	内科 10　小児科 17　眼科 4　STD 6　基幹 2　疑似 36	739,872	7,177
③北河内	守口市市　寝屋川市　門真市　枚方市 四條畷市　交野区　大東市	内科 17　小児科 27　眼科 6　STD 9　基幹 2　疑似 65	1,181,519	10,179
④中河内	八尾市　柏原市　東大阪市	内科 10　小児科 20　眼科 5　STD 7　基幹 2　疑似 47	854,474	6,889
⑤南河内	藤井寺市　松原市　羽曳野市 富田林市　大阪狭山市　河内長野市 河南町　太子町　千早赤阪村	内科 8　小児科 16　眼科 4　STD 5　基幹 2　疑似 37	640,617	4,910
⑥堺　市	堺市	内科 9　小児科 19　眼科 5　STD 6　基幹 2　疑似 49	836,098	7,765
⑦泉　州	和泉市　高石市　泉大津市　忠岡町 岸和田市　貝塚市　泉佐野市　泉南市 阪南市　田尻町　熊取町　岬町	内科 13　小児科 21　眼科 6　STD 6　基幹 2　疑似 48	918,477	8,489
⑧大阪市 北部	北区　都島区　淀川区　東淀川区 旭区	内科 6　小児科 13　眼科 4　STD 9　基幹 1　疑似 38	649,899	5,674
⑨大阪市 西部	福島区　此花区　西区　港区　大正区 西淀川区	内科 6　小児科 11　眼科 3　STD 3　基幹 0　疑似 27	458,297	4,441
⑩大阪市 東部	中央区　天王寺区　浪速区　東成区 生野区　城東区　鶴見区	内科 6　小児科 14　眼科 6　STD 4　基幹 1　疑似 40	686,878	6,272
⑪大阪市 南部	阿倍野区　住吉区　住之江区 東住吉区　平野区　西成区	内科 8　小児科 17　眼科 4　STD 3　基幹 0　疑似 46	857,025	6,903
合　　計		内科 107　小児科 198　眼科 52　STD 66　基幹 16　疑似 488	8,833,777	77,400

人口、出生数は大阪府人口動態総覧(平成20年)等より収録
定点数は平成21年12月末現在の数を掲載



参　考



大阪管区気象台平成 21 年（2009）年報「大阪府の気象」より引用

2．各感染症状況報告

1）インフルエンザ定点把握疾患

● インフルエンザ

平成 21 年 4 月にメキシコ、アメリカ合衆国において、豚インフルエンザウイルスによる感染症が発生、流行し、世界中に拡大し、42 年ぶりのパンデミックインフルエンザが勃発した。5 月に神戸、大阪でわが国最初の流行がみられ、その後徐々に感染が拡大していった。この新型インフルエンザ（＝ 2009 パンデミックインフルエンザ）の発生により 1 年間に 2 峰性の流行を認めた。本稿では 2008 / 2009 の季節性インフルエンザと新型インフルエンザについて発生動向をまとめて報告する。

(1) 2008 / 2009 の季節性インフルエンザ

全インフルエンザ患者報告数は 172,765 例で例年の 3–7 万例の約 2.5–5 倍に増加し、大きな流行となった。2008 / 2009 シーズンでの週別の定点あたり報告数が 10 を超えたのは第 2 週で、ピークは第 5 週の 31.58 であり、警戒レベルを超え、地区別にみてもほぼ全域で 20 を超えた。第 2 週から第 11 週の 10 週間が 10 以上を示し、13 週で 5 以下となり、4–5 週のみが 30 以上である比較的大きな流行となった。

年齢別患者発生数では 6 歳が最も多く（昨年は 5 歳）、次いで 5 歳、7 歳の順であった。4 歳から 7 歳の間では患者数に大きな差はなく、例年と同様なパターンであった。

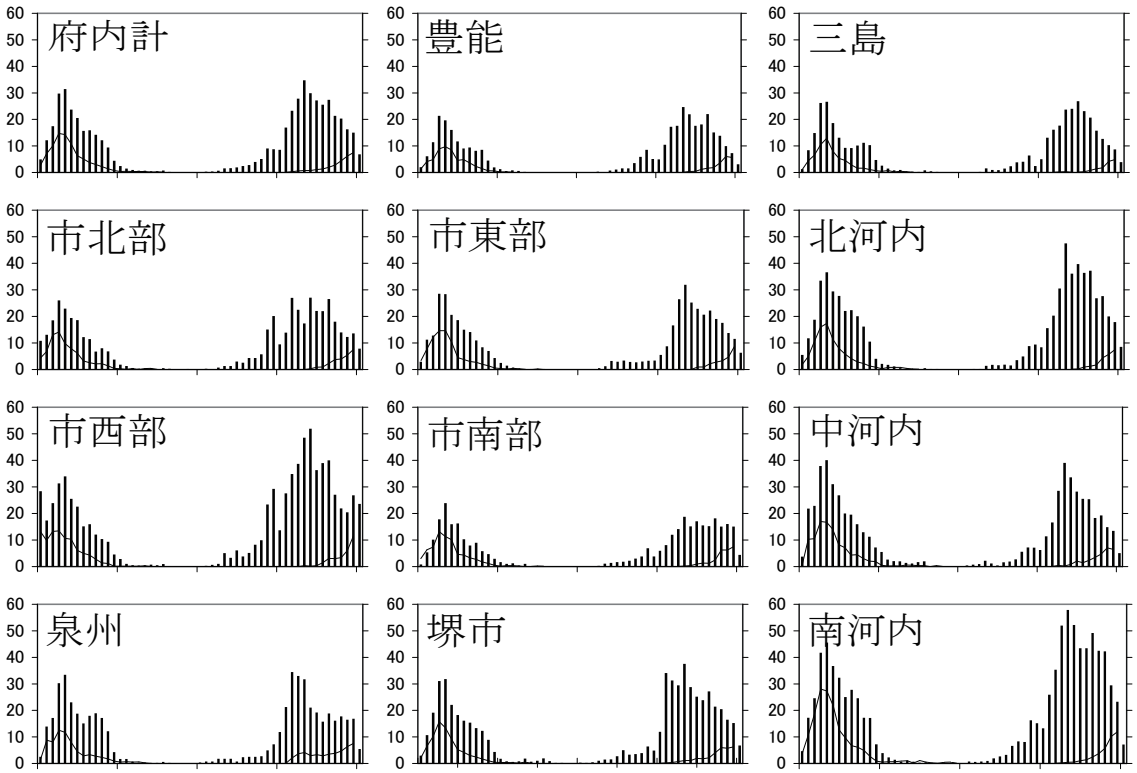
ブロック別にみた一定点あたりの平均報告数では、昨年と同様に⑤南河内、④中河内、③北河内の順で高く、報告数の少ないのは①豊能、②大阪市南部であった。

(2) 新型インフルエンザ

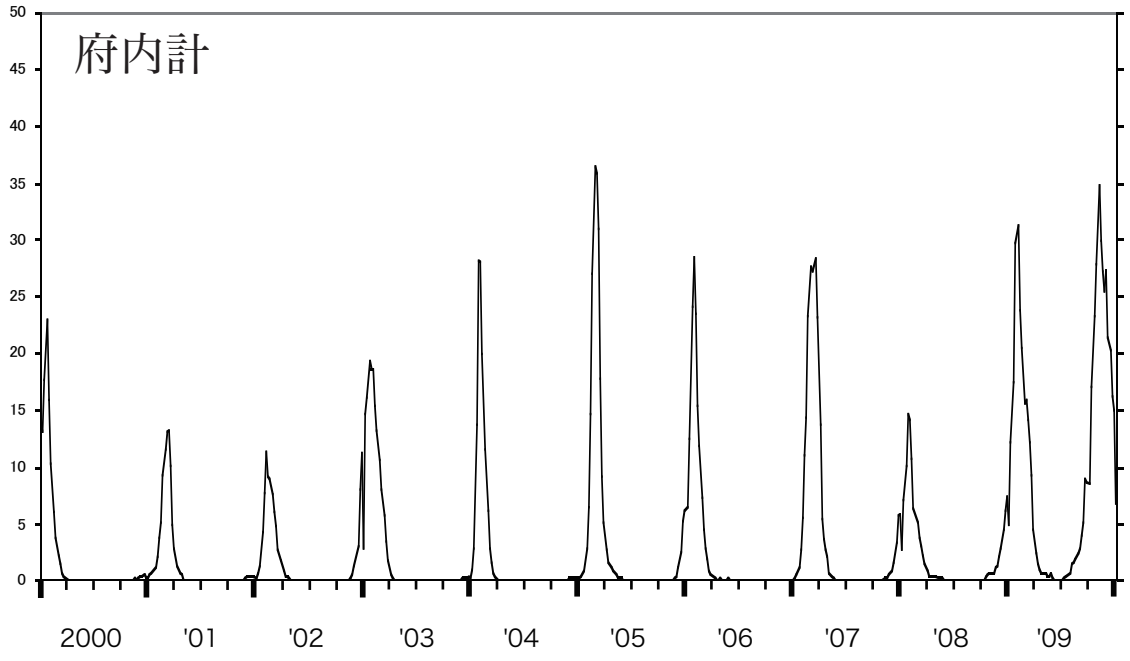
5 月 16 日に大阪北摂の高校で最初の新型インフルエンザの集団発生が認められ、以後 7 月 24 日まで疑い患者の全数調査がなされ、確定患者 1,023 例が登録された。5 月 18 日から 1 週間大阪府内の小中学校が閉鎖され、流行はいったん終息したが、26 週から再び大阪南部を中心に、特に小中高校で流行が拡大していった。この間、H3 亜型による季節性インフルエンザの症例も少数例確認された。31 週からは重症患者と集団発生を対象に診断検査がなされ、全数把握は中止された。31 週に定点報告数が 1 を超え、37 週に 5 を、さらに 41 週に 10 を超え、44 週に 30 を超え 35.91 のピークとなり、以後漸減し、12 月

インフルエンザ

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



の 53 週に 10 を切る 7.15 と減少した。今回の新型インフルエンザの流行を季節性インフルエンザと比較すると、流行ピークの定点あたりの報告数は 35.9 と例年と大差はないが、報告数 5 以上の流行期間が 5 か月と長く、新型インフルエンザの報告数は平均的な季節性インフルエンザの約 1.5 倍となった。

5–6 月に分離されたウイルスは大部分新型ウイルスであったが、H3 亜型も少数例分離された。35 週以降は分離されたウイルスはすべて新型ウイルスであった。5 月から 12 月までにオセルタミビル耐性ウイルスは 4 株検出され、検出率は約 5%であった（全国平均は 1%）。年齢別患者発生数では 9，10 月は 1–3 月と異なりおもに 9 歳を中心とした年齢で流行が進み、11，12 月は 6 歳から 5 歳へと低年齢へシフトしてきた。これは小中学校で流行が蔓延し、多くの生徒が免疫を獲得したため、流行が少ない保育所、幼稚園の低年齢層へ流行が移行してきたためと思われる。ブロック別にみた一定点あたりの平均報告数では、⑤南河内、⑨大阪市西部、③北河内、⑧大阪市北部が特に発生が多く、⑤南河内では 44 週に 57.83 の最多報告数を認め、⑨大阪市西部では 45 週に 51.94 を記録している。

（文責：高橋）

新型インフルエンザ

ブロック別　報告状況

ブロック	30週	31週	32週	33週	34週	35週	合計
豊　能	9	5	7	5	1		27
三　島	4	25	15	16	14	5	79
北河内	7	28	22	7	8	5	77
中河内	9	52	10	4			75
南河内	19	38	14	9	4	6	90
堺　市	4	26	25	24	40	8	127
泉　州	5	12	2	3	6		28
大阪市	4	31	15	11	8		69
合　計	61	217	110	79	81	24	572

年齢別報告状況

ブロック	30週	31週	32週	33週	34週	35週	合計
～4歳	3	5	7	10	5	3	33
5～9歳	2	52	21	16	17	5	113
10～14歳	19	73	39	15	23	3	172
15～19歳	23	54	27	13	15	7	139
20～29歳	7	14	10	17	6	3	57
30～39歳	2	5	4	6	7	1	25
40～49歳	2	7	1	2	3		15
50～59歳	2	4			1	1	8
60歳～	1	3	1		4	1	10
合　計	61	217	110	79	81	24	572

2）小児科定点把握疾患

● ＲＳウイルス感染症

本症は、平成 15 年より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で新たに定点報告の疾患に追加指定された。診断基準に病原体情報が必須とされていることと、その迅速検査の保険適用が３歳未満入院患者に限られ、外来患者には適用されないため、報告数は実際の患者数よりも少なくなっている可能性も考えられる。

平成 21 年のＲＳウイルス感染症の報告数は 4,805 例で小児科・眼科定点報告対象疾患総報告数の 1.7％を占めた。定点あたり報告数の年平均は 0.46 で、上記対象疾患中７位であった（前年度８位）。前年に比して 96 例、20.4％増加した。全国集計の報告数は 35,012 例で総報告数の 2.1％を占め、定点あたり年平均 0.22 の報告があり、前年 10 位から第９位になった。報告数は前年より 17,805 例、33.7％減少した。

週別にみると定点あたり報告例数は、第１週の 0.39、第２週 0.59 から始まり、以降減少し第７週から 22 週の間は 0.35 以下、６、７月は 0.10 ～ 0.23 となるが、８月半ばから少しずつ上昇し、第 48 週 1.05 となり、第 51 週には 2.23 のピークとなった。全国集計では第１週の 0.36 から始まり、第２週以降徐々に減少し第６週から 43 週の間は 0.20 以下であった。第 44 週以降、徐々に増加し 52 週 1.16 がピークとなっている。

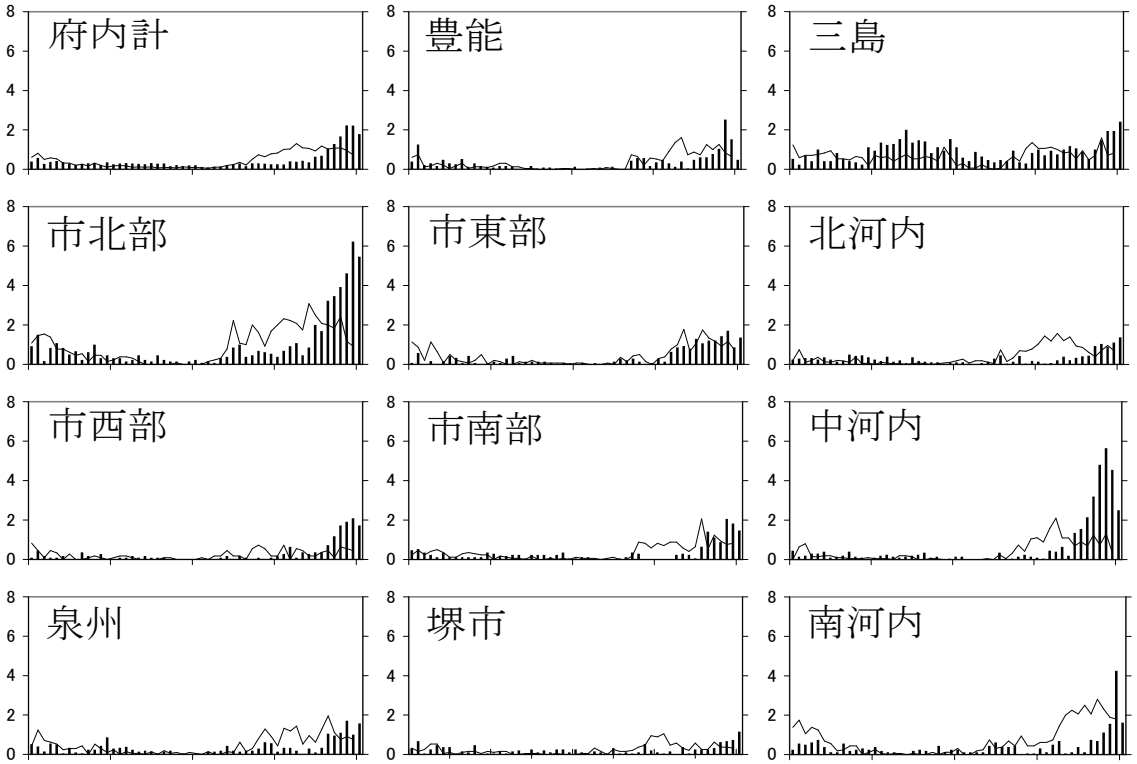
月別報告数では、多いのは 12 月の 1,836 例、ついで 11 月 541 例、１月 397 例と続く。この３ヶ月で全体の 57.7％を占めた。昨年は比較的低いピークが長く続く傾向があったが、本年は例年のように冬季に急峻なピークがみられた。全国集計で多いのは、12 月の 13,609 例で、ついで１月 4,436 例、11 月 4,026 例と続く。この３ヵ月で全体の 63.0％を占めた。

年齢別報告例数は、０歳が 1,222 例で全体の 48.7％、１歳が 690 例、27.5％、２歳が 313 例、12.5％と続く。０歳から２歳で全体の 88.7％を占め、３歳を含めると全体の 93.4％を占めた。迅速検査の保険適用の条件を勘案しても、乳児及び幼児期早期の疾患であると言えよう。

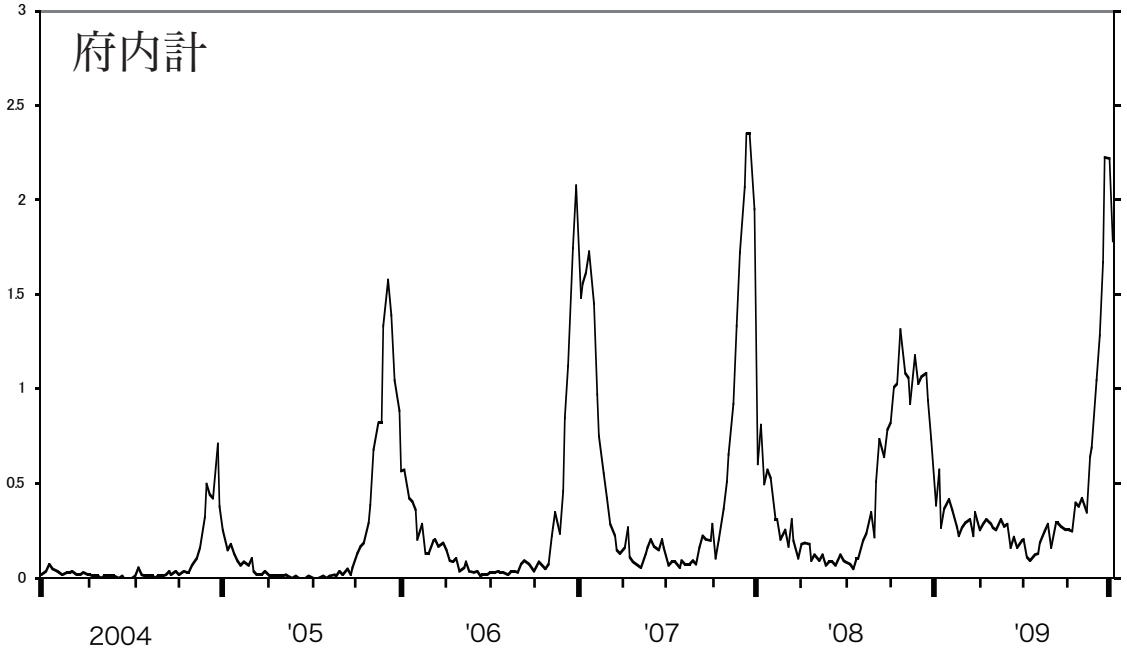
ブロック別の年間平均報告数を定点あたりで見ると、⑧大阪市北部 1.02、②三島 0.93、④中河内 0.66、⑤南河内 0.44、⑩大阪市東部 0.37、⑦泉州 0.35、①豊能 0.34、⑪大阪市南部 0.33、③北河内・⑨大阪市西部 0.30、⑥堺市 0.24 と続く。また、ブロック別・週別定点あたり報告状況を見ると、⑧大阪市北部の第 52 週 6.23 が最高で、4.0 を超えたのは④中河内、⑤南河内のみであった。　（文責：稲田）

ＲＳウイルス感染症

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H16 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● 咽頭結膜熱

平成 21 年の咽頭結膜熱の報告数は 1,453 例、平成 20 年の 5,695 例に比し、4,242 例、74.5％の減少を示した。定点あたり報告数は平均 0.14 で、平成 20 年定点あたり報告数 0.55 の 25.5％であった。

平成 21 年大阪府 13 疾患総報告数 117,118 例の 1.2％を占め、多い順では第 9 位であった。平成 21 年全国の咽頭口頭熱の報告数は 34,529 例で、全国 13 疾患総報告数の 2.0％を占め、第 8 位であった。

週別では、定点あたり報告数が 0.20 を超えているのは、第 2 週（1 月）、第 18 週（4 月）、第 20 週（5 月）、第 22 週（5 月）から第 28 週（7 月）まで、と第 30 週（7 月）であった。

月別では、7 月の 236 例が最も多く、6 月 200 例、5 月 156 例、1 月 145 例、4 月 134 例と続く。ピークの山は低いが、夏型感染症と言える。

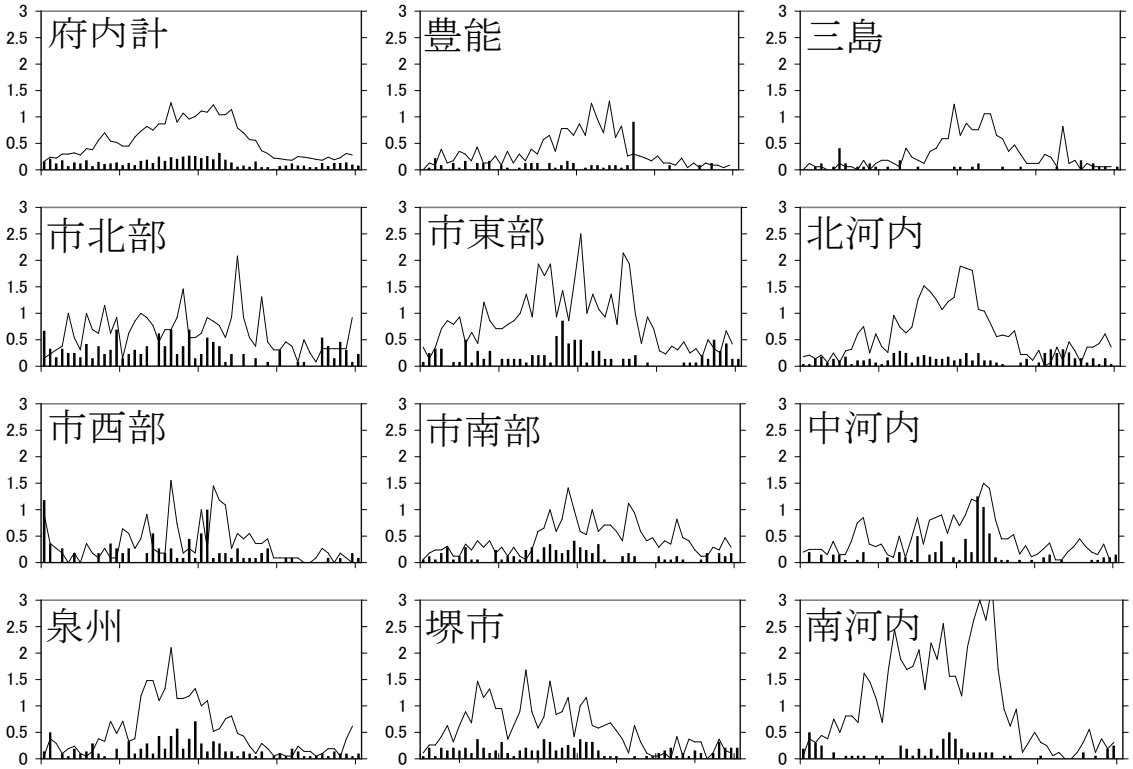
年齢別では、1 歳児が最多の 405 例、次いで 2 歳児 226 例、3 歳児 171 例、4 歳児 155 例、0 歳児と 5 歳児の 140 例であった。0 歳から 5 歳まで就学前児童の報告数 1,237 例は全報告数の 85.1％を占める。乳幼児期の感染症といえる。

ブロック別定点あたり報告数では、⑧大阪市北部、⑩大阪市東部、⑦泉州・⑨大阪市西部の順に多かった。週別・ブロック別定点あたりでは 1.00 を超えたのは⑨大阪市西部の第 1 週、第 28 週、④中河内の第 30 週、第 31 週であった。

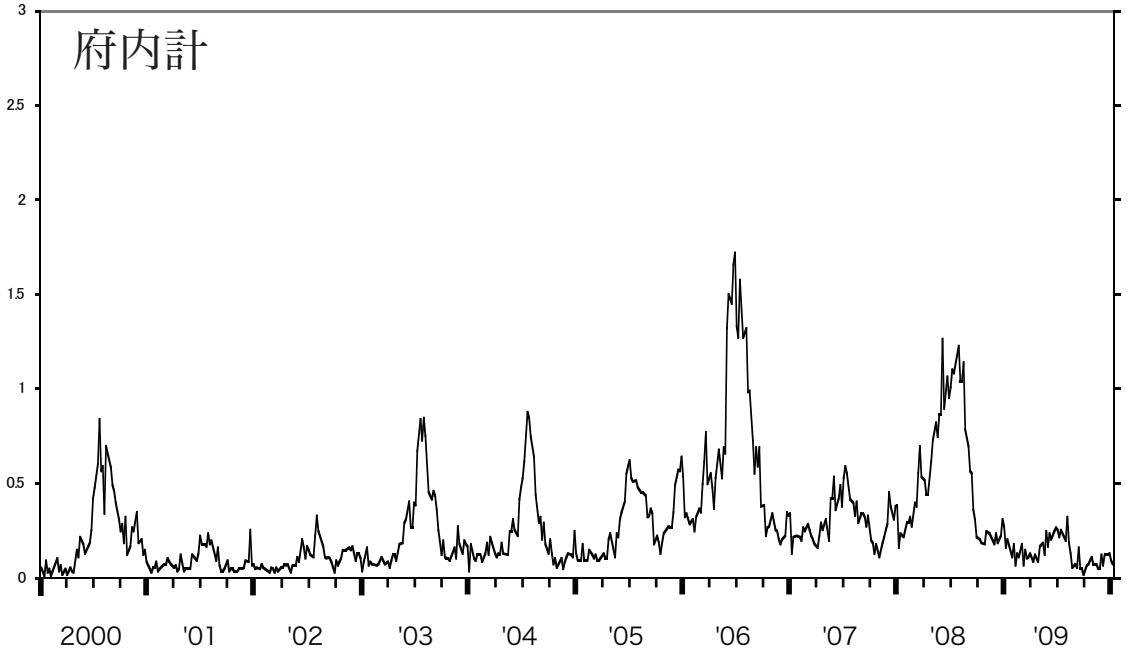
（文責：信田）

咽頭結膜熱

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

平成 21 年の報告数は前年比 21.6％減の 14,409 例で、総報告数の 12.3％を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 1.38 で順位は第 2 位であった。

全国的には昨年と同様 2 位（1.38）であった。

定点あたりの報告数は、週別では第 4 週から第 11 週（1 月～ 3 月）で 2.0 を超え、ピークは第 10 週の 2.53 であった。それ以外では第 17、18 週（4 月）、第 20、21 週（5 月）、第 23、24 週（6 月）でも 2.0 を超えた。

全国的には第 4 ～ 12 週（1 月～ 3 月）、第 17、18 週（4 月）、第 20 ～ 24 週（5 ～ 6 月）で 2 を超え、ピークは第 10、11 週の 2.66 であった。

年齢別患者発生数では 5 歳の 2,024 例が最も多く、以下 4 歳（1,859 例）、6 歳（1,535 例）、3 歳（1,527 例）と続き 3 歳から 6 歳で全体の 48.2％を占めた。

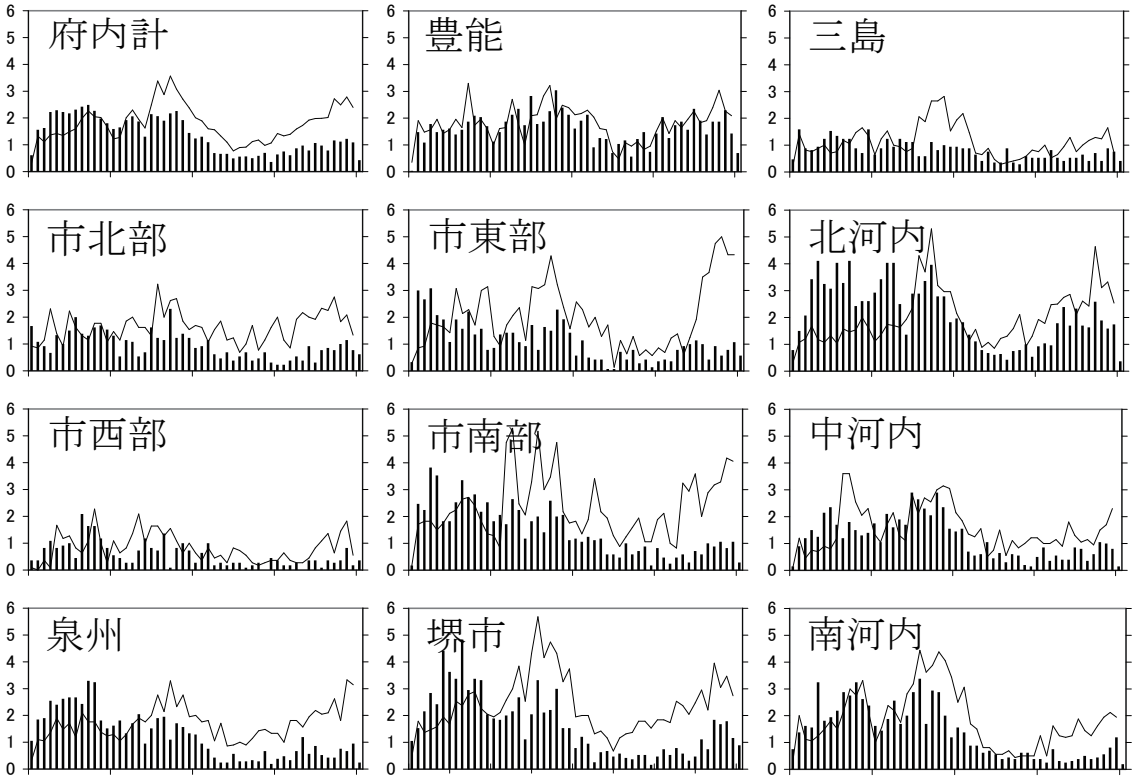
定点あたりのブロック別年平均報告数の上位 5 ブロックは③北河内（2.11）、①豊能（1.65）、⑥堺市（1.63）、⑪市南部（1.48）、⑤南河内（1.39）の順であった。最下位は⑨市西部（0.61）であり、上位のブロックとは約 2 ～ 3 倍の差がある。

ブロック別･週別定点あたりの報告数の上位 5 は⑥堺市（第 9 週、4.84）、⑥堺市（第 6 週、4.42）③北河内（第 5、10 週、4.11）、③北河内（第 8、16、17 週、4.04）であった。

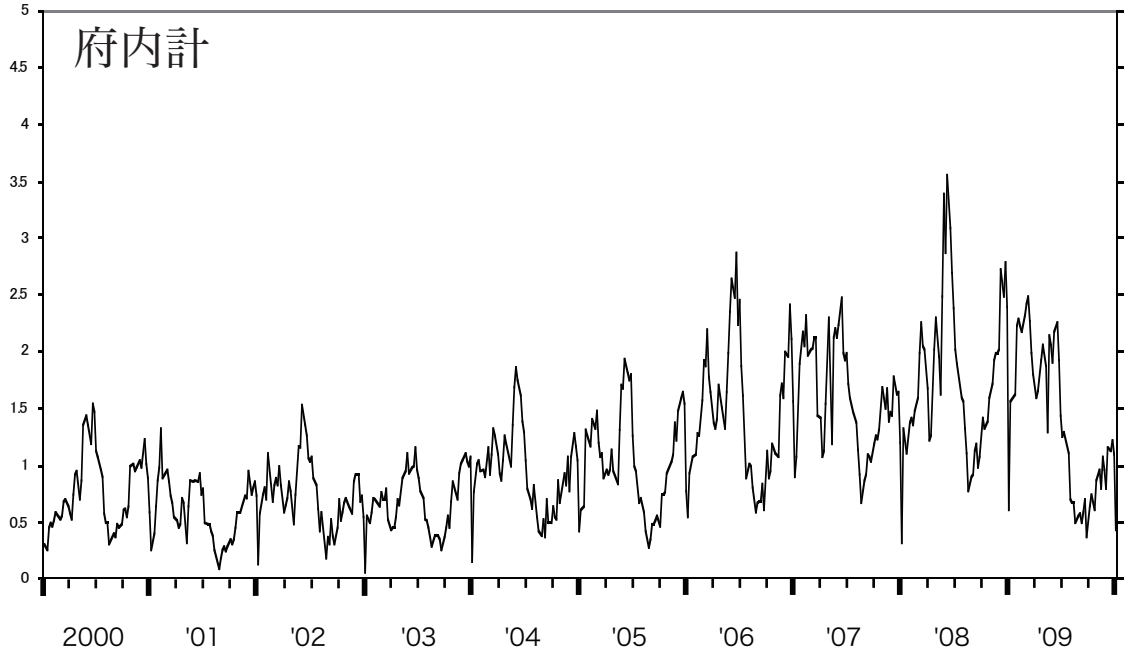
（文責：東野）

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● 感染性胃腸炎

平成 21 年の感染性胃腸炎の報告数は 59,193 例であった。総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の 50.5%を占め、定点あたり報告数の年平均は 5.66 と、上記対象疾患中第 1 位である。全国集計では、814,793 例の報告数で、総報告数の 48.2%を占め、定点あたり報告数の年平均は 5.09 と前年（6.72）より 24.3%減少した。

定点あたり報告数を週別にみると、第 2 週で 9.72 のピークを作り、以後は 6 から 9 の間で増減しながら推移し、第 14 週 8.14 から急増し、第 16 週に本年最高値である 12.10 となる。第 15 週 10.51 から第 18 週 11.29 まで 10 以上で推移するが、その後、増減を繰り返しながら漸減し、第 33 週に本年の最低値である 2.05 となった。第 28 週から第 48 週までは 2 から 4 の間で経過したが、第 48 週 3.38 から急速な増加に転じ、第 52 週に 8.75 のピークを作った。全国集計は第 1 週の 4.98 から始まり、第 2 週に本年最高値 10.23 となり、第 3 週から第 20 週まで増減を繰り返し 5 から 9 の間で経過した。第 20 週 6.98 以降は増減を繰り返しながら漸減し、第 39 週に最低値 1.77 となった。第 48 週の 2.89 以降は急増し、第 52 週で 7.39 のピークを形成した。

月別報告数では、4 月、1 月、3 月、12 月、2 月、5 月の順に多かった。1 月から 3 月までの 3 ヵ月で全体の 33.7%、4 月から 6 月までの 3 ヵ月で 33.4%を占める。4 月中旬の 16 週前後でピークがあり、初夏から秋には低値をとり、12 月には急峻で高いピークを持つ流行曲線は例年と同様だが、4 月のピークの立ち上がりは前年より 5 週ほど遅く、ピークに達したのは同じ週であった。

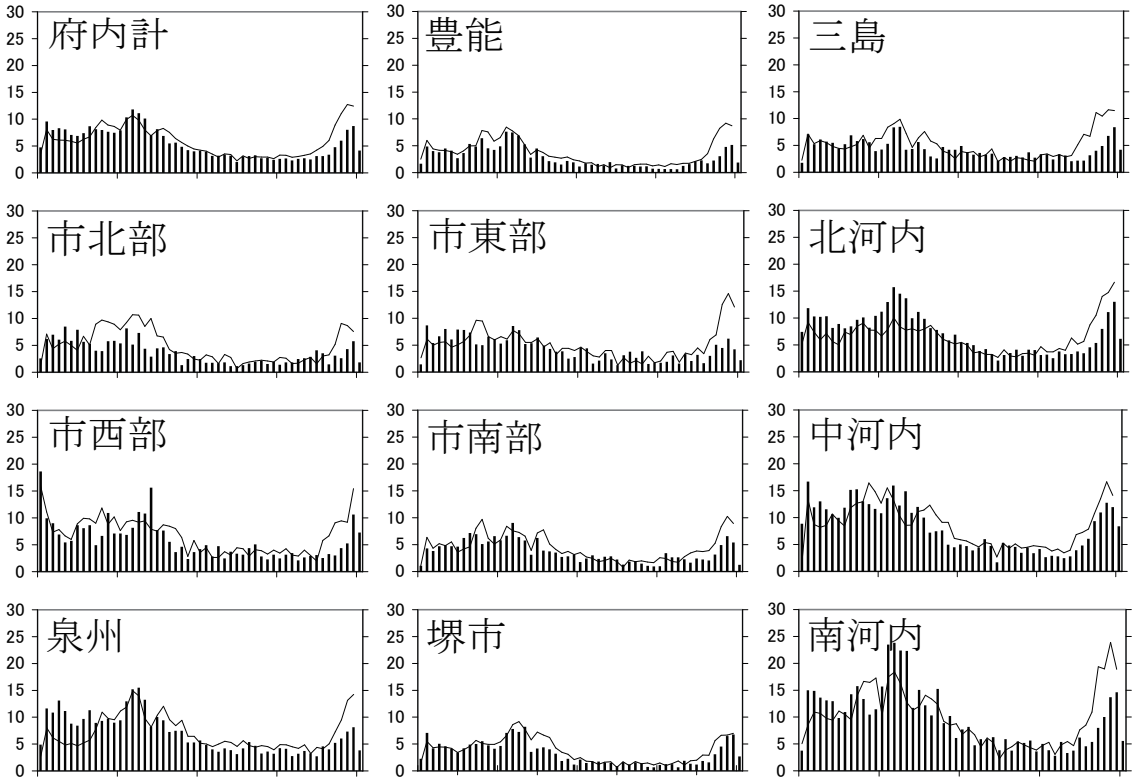
年齢別報告数は、1 歳、2 歳、3 歳、4 歳、5 歳、0 歳の順に多く、0 ～ 4 歳の合計は 33,273 例となり、全体の 56.2%を占めた。5 ～ 9 歳が 14,998 例 (25.3%)、10 ～ 14 歳が 4,417 例 (7.5%)、15 歳以上が 6,505 例 (11.0%) となり、各年齢群の全体に占める割合は昨年とほぼ同じであった。

定点あたり報告数の年平均をブロック別にみると、⑤南河内 10.00、④中河内 8.39、③北河内 7.28、⑦泉州 6.97、⑨大阪市西部 5.89、⑩大阪市東部 4.56、②三島 4.44、⑪大阪市南部 3.97、⑧大阪市北部 3.70、⑥堺市 3.26、①豊能 2.92 の順であった。

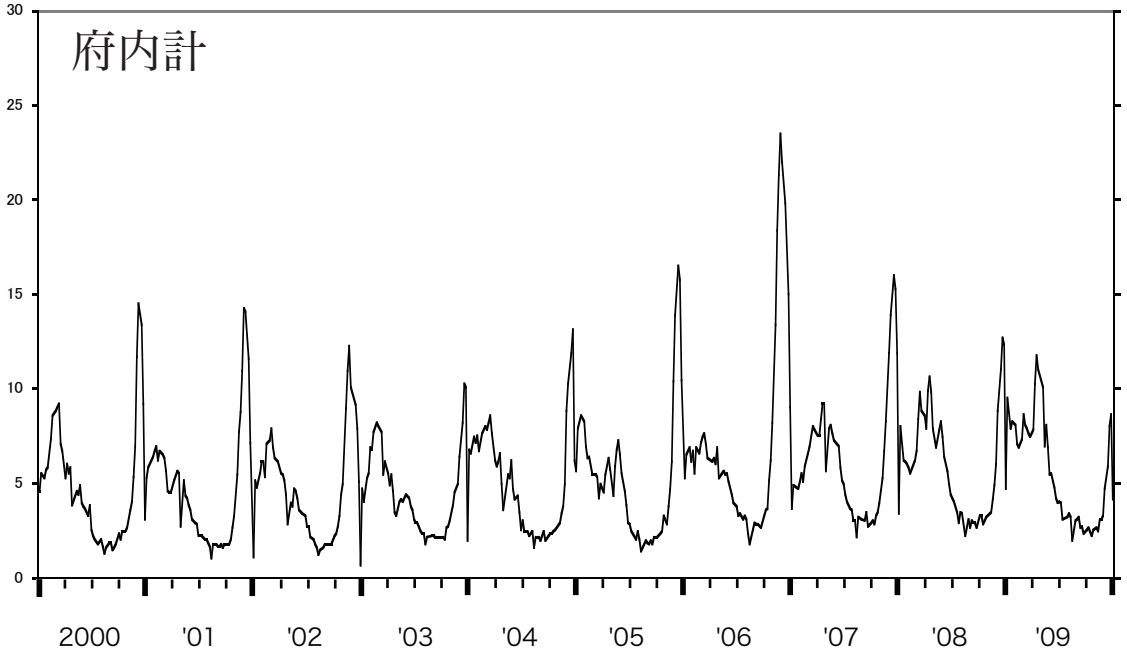
（文責：吉田）

感染性胃腸炎

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● 水　痘

平成 21 年の水痘の報告数は、12,604 例であった。本疾患報告数の総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）に占める割合は 10.8％で、前年とほぼ同じである。定点あたり報告数の年平均は 1.20 で、上記対象疾患中第 3 位である。全国集計の報告数は 202,732 例で、総報告数の 12.0％を占め、定点あたり報告数の年平均は 1.27 であった。

定点あたり報告数を週別にみると、第 1 週 0.96 で始まり、第 2 週に本年の最高値である 2.22 となる。第 3 週 1.37 以降は増減を繰り返しながら漸増し、第 22 週 2.05 となる。その後は漸減し第 41 週に本年の最低値である 0.45 となった後増加し、第 51 週 1.51、第 53 週 1.12 となった。全国集計では、第 2 週に本年の最高値である 3.02 から増減を繰り返しながら漸減し、前半の最低値である第 5 週の 1.38 まで減少した後、1.5 から 1.8 の間で推移する。第 16 週 1.46 以降漸増し、第 20 週 1.97 に達した後は増減を繰り返しながら漸減し、本年の最低値である第 38 週及び第 41 週 0.40 となる。その後は漸増し、第 51 週 1.53、第 53 週 1.10 となる。

月別報告数では、1 月、4 月、5 月、12 月、3 月、6 月の順に多かった。1 月から 3 月までの 3 ヵ月で全体の 30.3％、4 月から 6 月までの 3 ヵ月で 32.4％を占めた。初夏と冬に 2 峰性のピークを作り、夏から秋にかけて低値を取る流行曲線は例年と同様であった。

年齢別報告数は、1 歳、2 歳、3 歳、4 歳、5 歳、0 歳の順に多く、0 ～ 4 歳の合計は 9,752 例となり、全体の 77.4％を占めた。5 ～ 9 歳が 2,523 例 (20.0％)、10 ～ 14 歳が 209 例 (1.7％)、15 歳以上が 120 例 (1.0％) となり、各年齢群の全体に占める割合は昨年とほぼ同じであった。

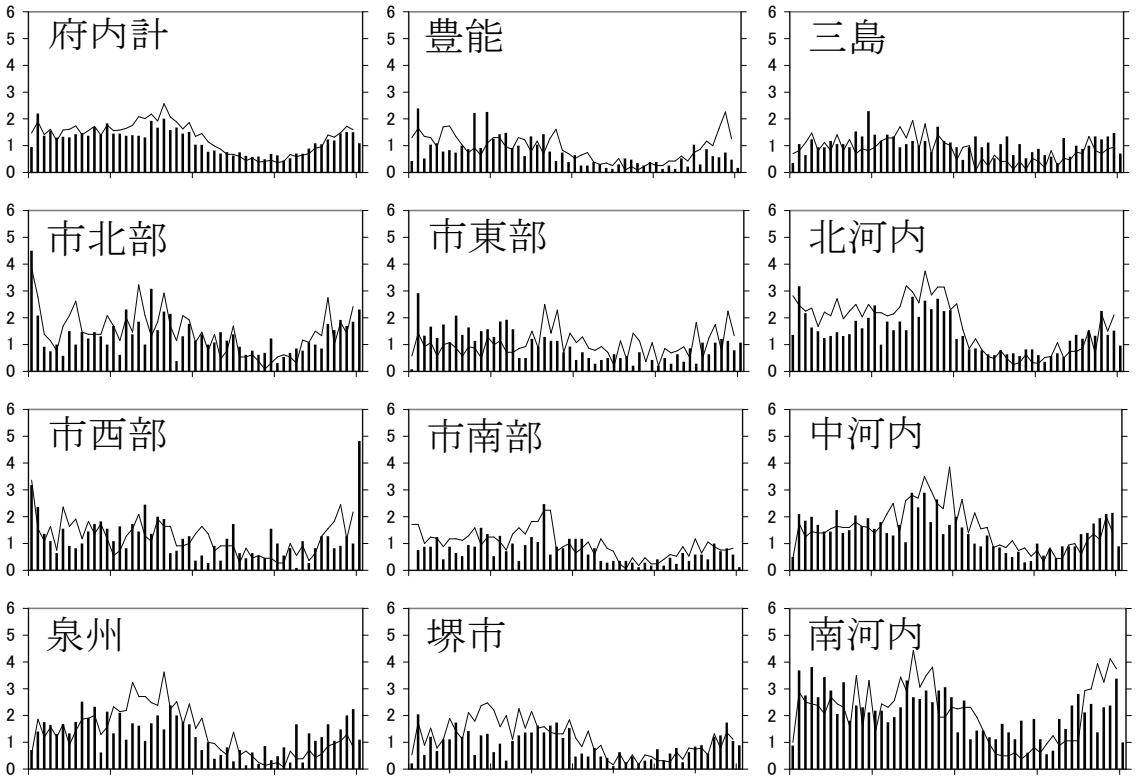
定点あたり報告数の年平均をブロック別にみると、⑤南河内 2.14、④中河内 1.47、③北河内 1.43、⑧大阪市北部 1.36、⑦泉州 1.27、⑨大阪市西部 1.20、②三島 1.06、⑩大阪市東部 0.97、⑥堺市 0.90、⑪大阪市南部 0.75、①豊能 0.74 の順であった。

ブロック別・週別定点あたり報告状況を見ると、多い順に⑨大阪市西部第 53 週 4.82、⑧大阪市北部第 1 週 4.50、⑤南河内第 4 週 3.81、第 2 週 3.69、第 19 週 3.53、第 6 週 3.44、第 52 週 3.38、第 9 週 3.25、③北河内第 2 週 3.18 及び⑨大阪市西部第 1 週 3.18 であった。

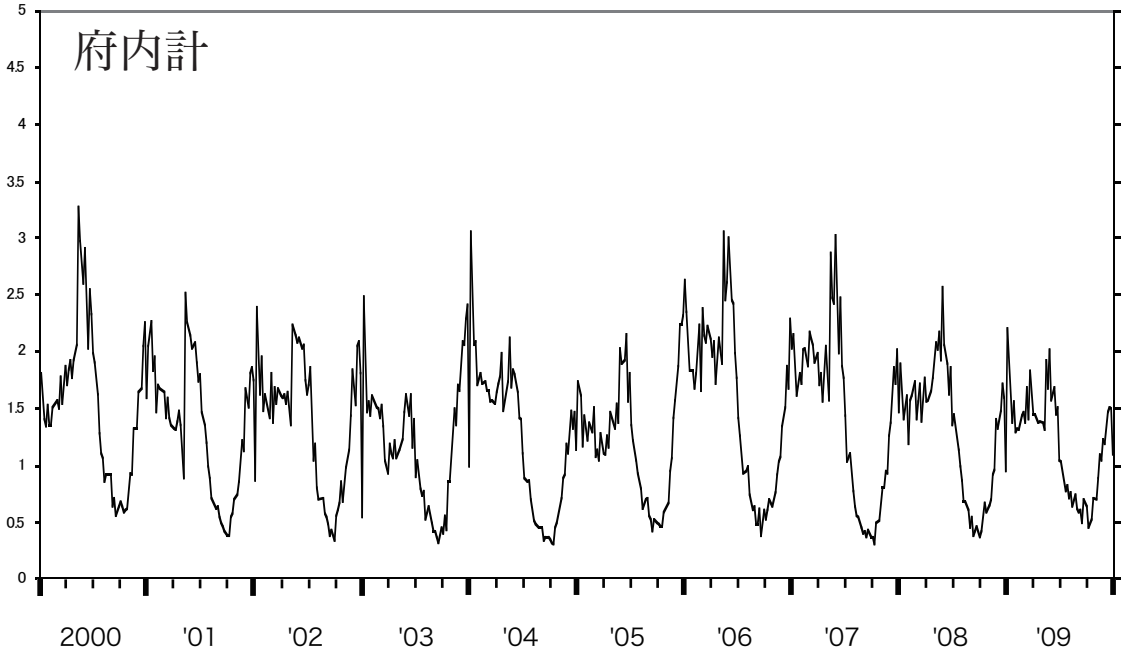
（文責：吉田）

水　痘

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● 手足口病

平成 21 年の手足口病の報告数は 2,090 例で、平成 20 年の 7,852 例に比し、4,762 例、60.6%の減少を示した。平成 21 年の定点あたり報告数は平均 0.20 で、平成 20 年定点あたり報告数 0.76 の 26.3%であった。

平成 21 年大阪府の 13 疾患総全報告数 117,118 例の 1.8%を占め、第 8 位であった。全国の手足口病の報告数 68,578 例は全国 13 疾患総報告数の 4.1%を占め、第 7 位であった。

週別定点あたり報告数では、第 1 週から第 20 週までは 0.01 から 0.09 の間で推移し、第 21・22・24・25 週では 0.11 から 0.18 の間、第 26 週には 0.28、第 27 週には 0.35、と増加し、第 30 週には 0.87 とピークを示した。以降第 31 週は 0.81、第 32 週には 0.66、第 33 週には 0.53、とゆっくり減少した。ピークは低いが、夏型感染症のパターンを示している。

週別では、ブロック別定点あたり報告数が 1.00 を超えているのは②三島の第 31 週、第 32 週、③北河内の第 28 週から第 32 週まで、④中河内の第 29 週から第 31 週間で、⑤南河内の第 27 週から第 30 週まで、第 32 週、第 45 週、⑧大阪市北部の第 34 週であった。

月別では、7 月 678 例が最も多く、次いで 8 月 654 例、9 月 223 例、12 月 164 例と続く。

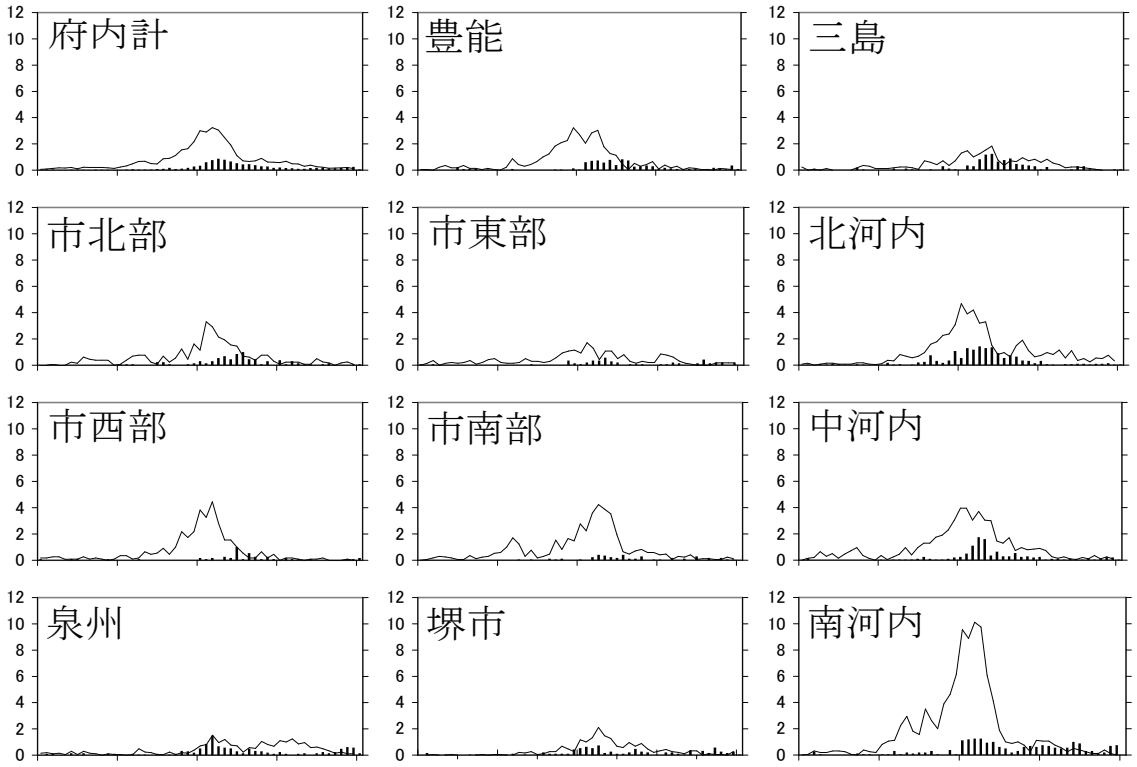
ブロック別では、③北河内 447 例、⑤南河内 327 例、⑦泉州 242 例、④中河内 220 例、①豊能 213 例の順に報告数が多かった。

年齢別では、1 歳児 692 例が最も多く、次いで 2 歳児 416 例、3 歳児 264 例、0 歳児 211 例、4 歳児 196 例、5 歳児 133 例であった。0 歳から 5 歳まで、就学前児童の報告数が全体の 91.5%を占める。乳幼児期の感染症といえる。

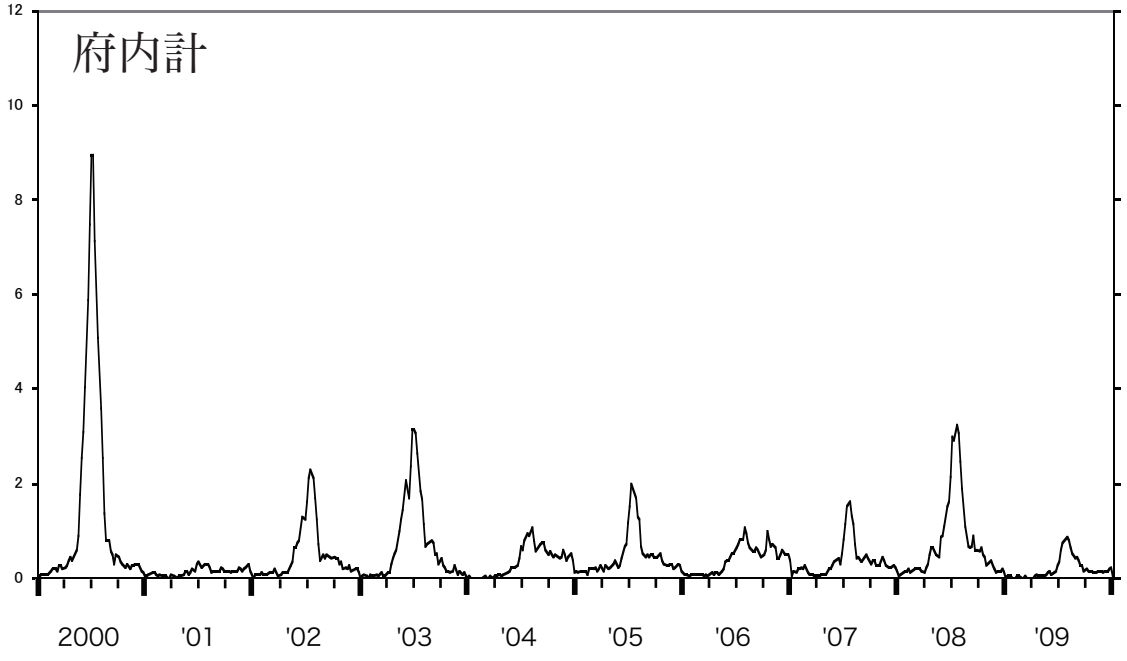
（文責：信田）

手足口病

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● 伝染性紅斑

平成 21 年の伝染性紅斑の報告数は 1,095 例、小児科・眼科定点報告対象疾患総報告数 117,118 例の 0.9％を占め、定点あたり年平均 0.10 で、同対象疾患中では前年と同じく第 11 位であった。平成 20 年と比較すると、報告数は 232 例、26.9％増加した。全国集計では 17,281 例、総報告数の 1.0％を占め、定点あたり年平均 0.11 の報告があり、第 11 位に位置する。これは前年より 1,949 例、10.1％の減少であるが、順位は同じであった。

週別に見ると定点あたり報告数は第 1 週 0.03 から始まり、第 14 週までの間は、0.15 以下で推移した。その後、やや増加し、第 23 週に 0.32 とピークとなった後は減少局面となり、第 27 週には 0.20 以下、第 36 週以降は 0.10 以下で推移した。全国集計では、第 12 週に 0.10 を越え、第 28 週に 0.24 のピークとなった。第 35 週以後減少し、以後 0.10 以下で推移した。

月別の患者報告状況を見ると、６月が 194 例と最も多く、全体の 17.7％を占めた。次いで、７月の 154 例、４月の 152 例、５月 139 例の順となる。５月から７月の３ヶ月間で報告数の 44.4％、487 例の報告があった。全国集計では、７月が 2,843 例と最も多く、次いで、６月 2,592 例、４月の 2,063 例と続く。５月から７月の３ヶ月間で年間報告数の 42.3％を占めた。

年齢別報告数では、前年と同様に５歳の 184 例が最も多く 16.8％を占め、４歳 162 例、６歳の 137 例と続いている。３歳から７歳の各年齢で 100 例以上の報告があり、全体の 64.3％を占めた。成人例は７例 0.6％と僅少であった。幼児期後半から学童期前半を中心とする疾患である。

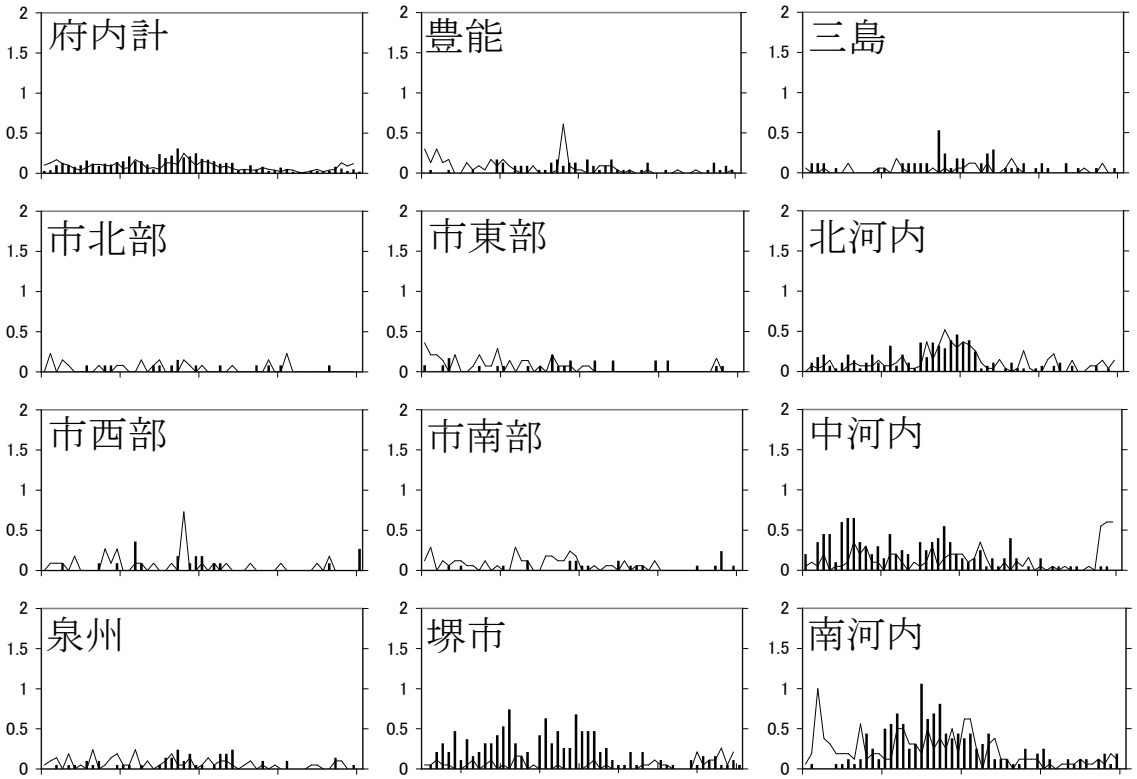
ブロック別の年間平均報告数を定点あたりで見ると、⑤南河内 0.25、⑥堺市 0.22、④中河内 0.20、③北河内 0.13、②三島 0.07、①豊能・⑦泉州 0.05、⑨大阪市西部・⑩大阪市東部 0.04、⑪大阪市南部 0.03、⑧大阪市北部 0.02 の順であった。また、ブロック別・週別定点あたり報告状況を見ると、1.0 を超えたのは、⑤南河内の第 20 週のみであった。

経年的にみると、本症は数年の周期で流行する傾向があり、最近では、H13、H14、H16 年に中程度の流行、H19 年に比較的大規模の流行があった。本年は昨年より報告数は増加したが、中規模以上の流行には至らなかった。

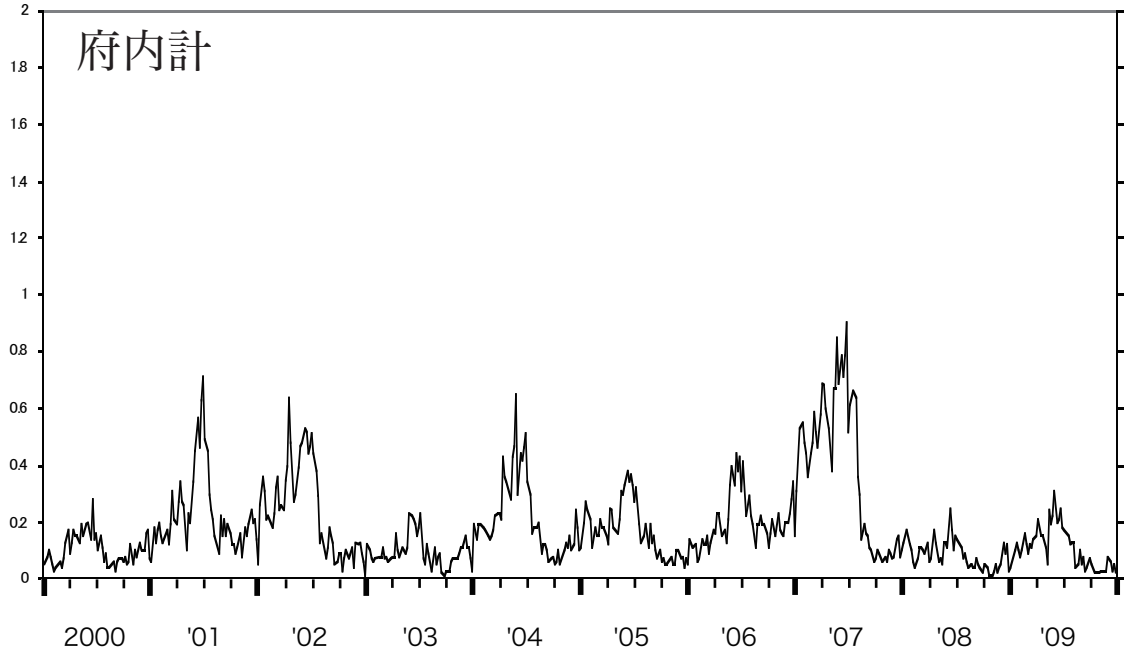
（文責：稲田）

伝染性紅斑

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● 突発性発しん

平成 21 年の突発性発しんの報告数は 5,618 例で、前年の 6,417 例に比して 12.5％減であった。小児科定点把握 13 疾患のうち第 6 位の報告数にあたり、総報告数 117,118 例に占める割合は 4.8％で、前年度より 23.0％増であった。

定点あたり報告数は 0.55 で前年度の 0.62 に比して 11.3％減少した。

定点あたり患者報告数をみると、例年と同じく冬場に比べて春夏に高い傾向にあるが、昨年に比べると 10 ～ 12 月の月平均が 0.57 から 0.46 と 19.3％減少した。新型インフルエンザが流行した時期と重なっており、受診抑制 がかかった可能性も考えられた。

昨年の週毎の定点あたり報告数を月毎の平均と標準偏差でみると、平均の最高は 7 月の 0.75±0.11 で最低は 1 月の 0.45±0.17 であった。季節ごとにみると、第 27 ～ 39 週（7 ～ 9 月）では 0.63±0.14、第 1 ～ 13 週（ 1 ～ 3 月）の平均は 0.46±0.11 であった。最高値の週は第 28 週（ 7 月初旬）の 0.88 であった。

年齢別の報告数は、 0 歳児が 3,015 例で全体の 53.7％、 1 歳児 2,294 例 40.8％、 2 歳児 266 例 4.7％の順であった。年齢割合では昨年とほぼ同じであり、 0 歳児および 1 歳児で 94.5％、 2 歳児を含めると 99.2％となり例年どおりであった。

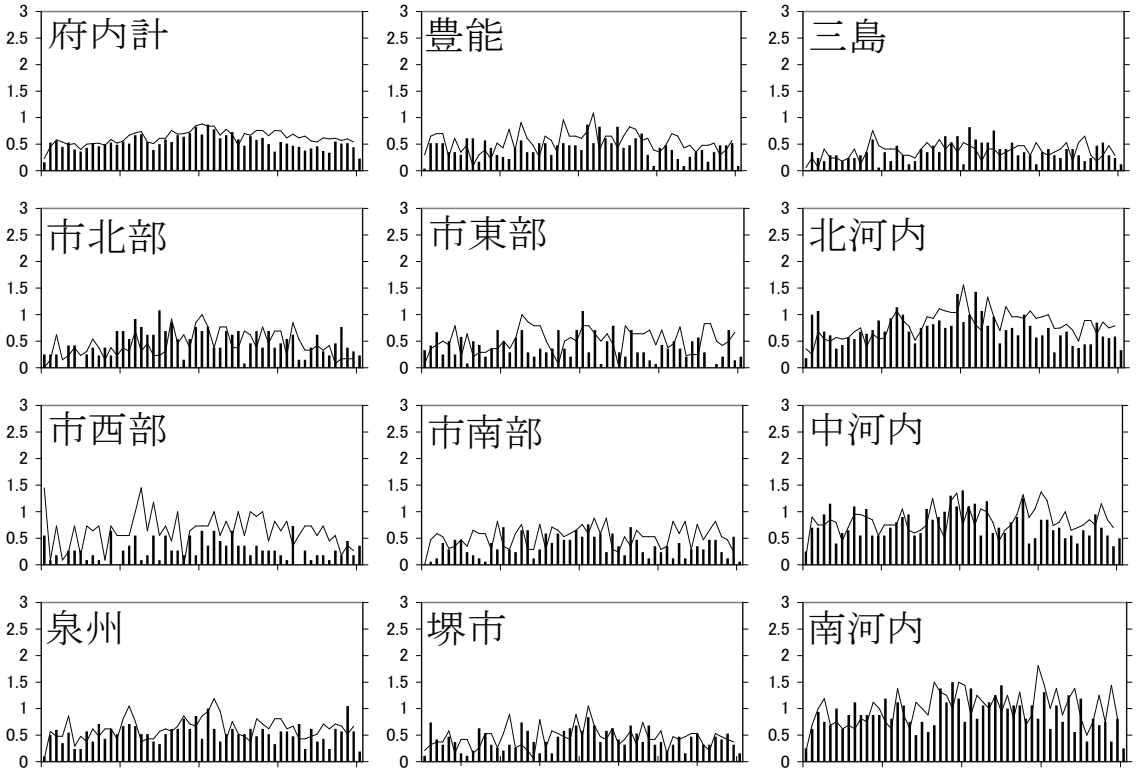
ブロック別の患者発生状況は、③北河内 1,061 例、④中河内 812 例、⑤南河内 765 例などが多い。これを定点あたりでみると⑤南河内 0.91、④中河内 0.78、③北河内 0.72 が多く、反対に⑨大阪市西部 0.29、②三島 0.36、⑧大阪市南部 0.37、⑩大阪市東部 0.4 が少なかった。

本疾患の特性としてブロック間の多寡は比較的生じにくいと考えられるが、各ブロック間で定点あたり報告数に最大 3.1 倍の差があった。定点医療機関における患者年齢の偏りや受診抑制の傾向がみられる地域性など報告精度に関するさらなる検討が必要と考えられた。

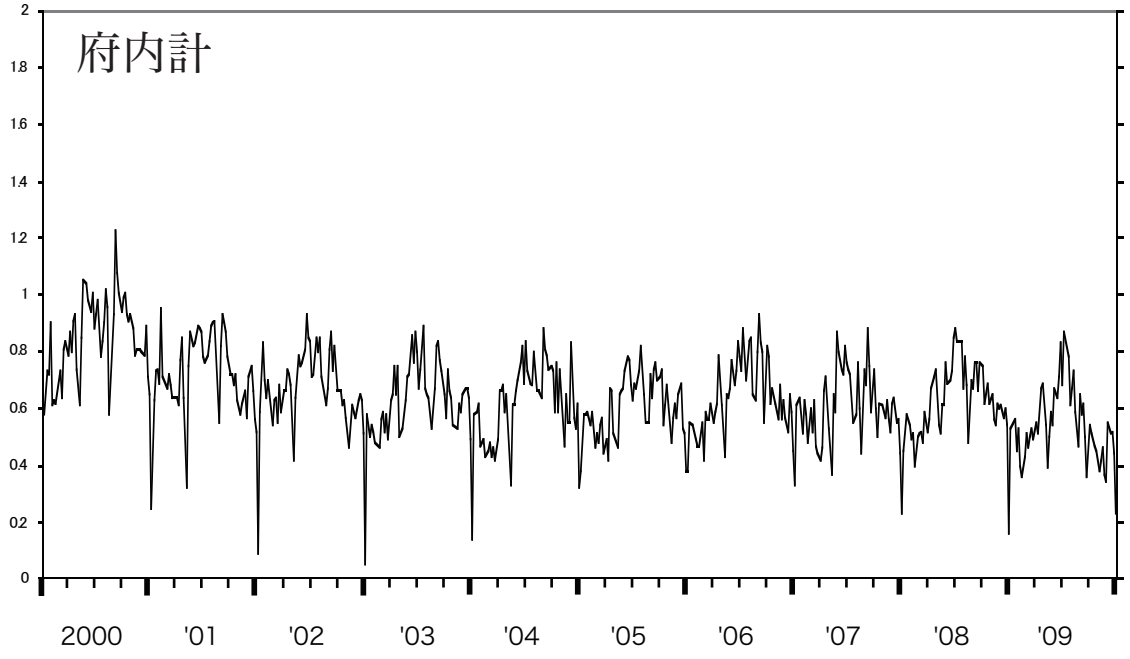
（文責：浅井）

突発性発しん

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● 百日咳

平成 21 年の百日咳の報告数は 247 例で、前年 364 例に比して 32.1％減であった。これは総報告数の 0.2％で小児科定点把握 13 疾患のうち第 12 位にあたり報告数は少ない部類に入る。大阪の報告数は全国集計 5,208 例の 4.7％を占めている。

ここ 4 年間では平成 18 年 141 例、平成 19 年 253 例、平成 20 年 364 例で本年は 247 例と減少に転じた。

週別の報告数をみると、週平均は 4.7 例、定点あたり 0.02 であり全国平均 0.03 よりやや少なかった。5 月の週平均 8.5 例が最も多く、次いで 4 月 6.4 例、2 月 5.8 例とつづく。最も少なかったのは 9 月・12 月の週平均 3.0 例で、次いで 1 月の 3.2 例であった。本年は 4 月から 6 月にかけて多く見られ、 1 月と 12 月が少なかった。

年齢別では、20 歳以上が 66 例 26.7％と最も多く、次いで 0 歳児 60 例 24.3％、 1 歳児 27 例 10.9％、10 歳～ 14 歳 10.5％の順となった。昨年と同じく 20 歳以上と 0 歳にピークを持つ 2 峰性が認められた。

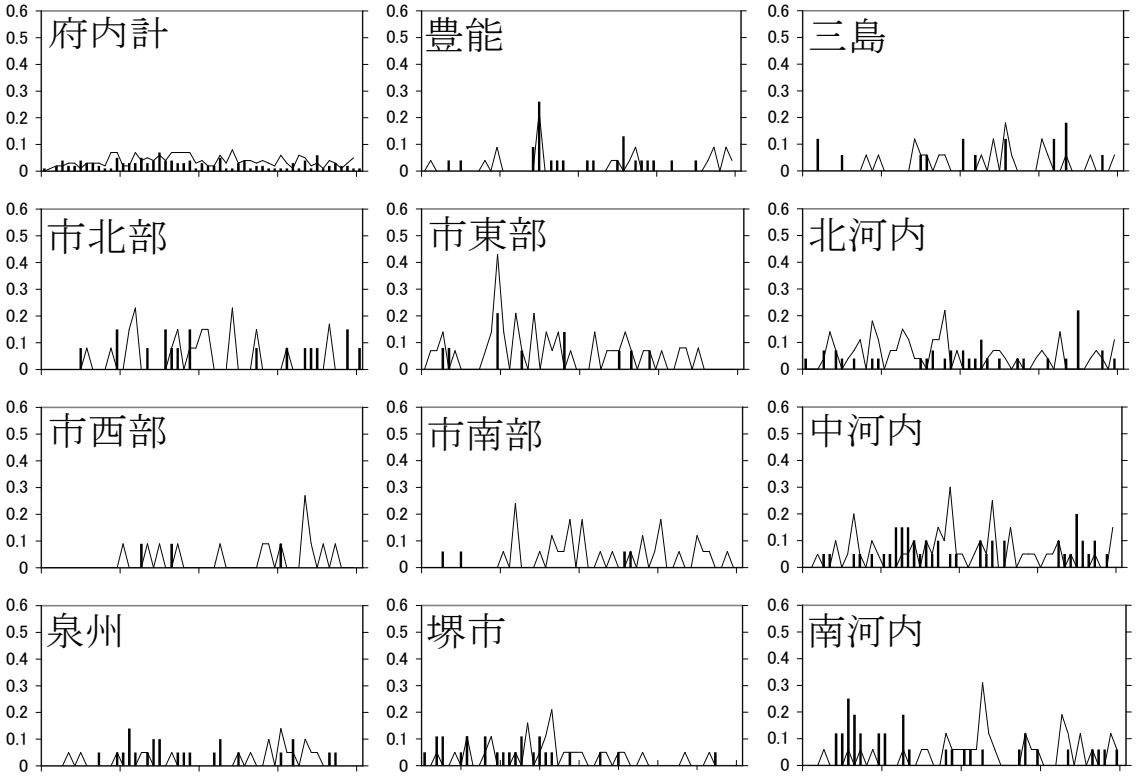
ブロック別にみて報告数が多かったのは④中河内 47 例、⑤北河内 38 例、⑤南河内 35 例が多く、反対に⑨大阪市西部 3 例、⑧大阪市南部 4 例、⑩大阪市東部 11 例が少なかった。

百日咳の診断において、殆どの医療機関で百日咳菌の培養を常時行える態勢になっていないこと、三種混合等のワクチン接種者を含めて血清抗体を使用した診断基準が現在においても確立されていないことから、定点医療機関の採用する診断基準が異なることが推測される。報告数のばらつきにつながることから、全国で統一された診断基準が早期につくられることが望まれる。

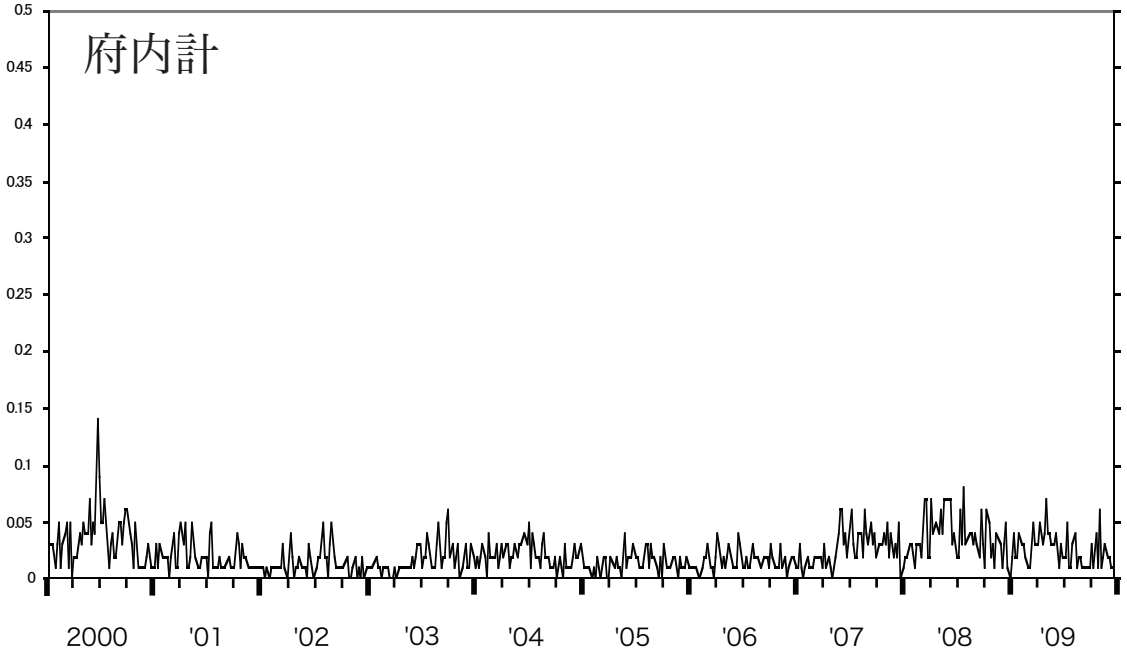
（文責：浅井）

百日咳

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● ヘルパンギーナ

平成 21 年のヘルパンギーナの報告例数は 8,517 例で、前年より 2,513 例 41.9%増加し、総報告例数の 7.3%を占めた。対象疾患中昨年の第 6 位から第 4 位に上がった。定点あたりでは年平均 0.81 であった。全国集計では、前年より 37,167 例 32.9%減少の 75,666 例の報告があり、定点あたり 0.47 であった。報告数の順位も昨年の第 5 位から第 6 位に下がった。

週別にみると、定点あたり報告例数は、第 1 週から第 16 週までの期間 0.09 以下で推移し、第 17 週に 0.11 となった。第 18、19 週は 0.1 を切ったが、第 20 週から増加が始まり、第 29 週に 6.36 のピークに達した。その後は、ほぼ週を追って逓減し、第 38 週に 1.0 を切り 0.55 となり減少し続けた。第 25 週に報告疾患の第 5 位に入り、第 28 週から第 33 週にかけてヘルパンギーナが対象疾患の報告の第 1 位となっている。第 38 週の第 3 位を最後に上位 5 疾患から外れた。

全国集計では 0.09 となった第 20 週より増加が始まり、第 28 週に定点あたり 1.0 を超え、第 31 週に 2.61 のピークに達し、その後減少し第 38 週以降は 1.0 以下となっている。第 28 週から第 37 週にかけて、対象疾患の報告の第 2 位となっている。

年齢別報告数を見ると 1 歳 23.3%、2 歳 19.1%、3 歳 15.5%、4 歳 12.5%、5 歳 8.7%、0 歳 8.2%の割合で、0 ～ 4 歳では 6,686 例となり全体の 78.5%を占める。5 歳以下を合計すると 7,429 例 87.2%となる。例年と年齢分布には大きな変化は無い。

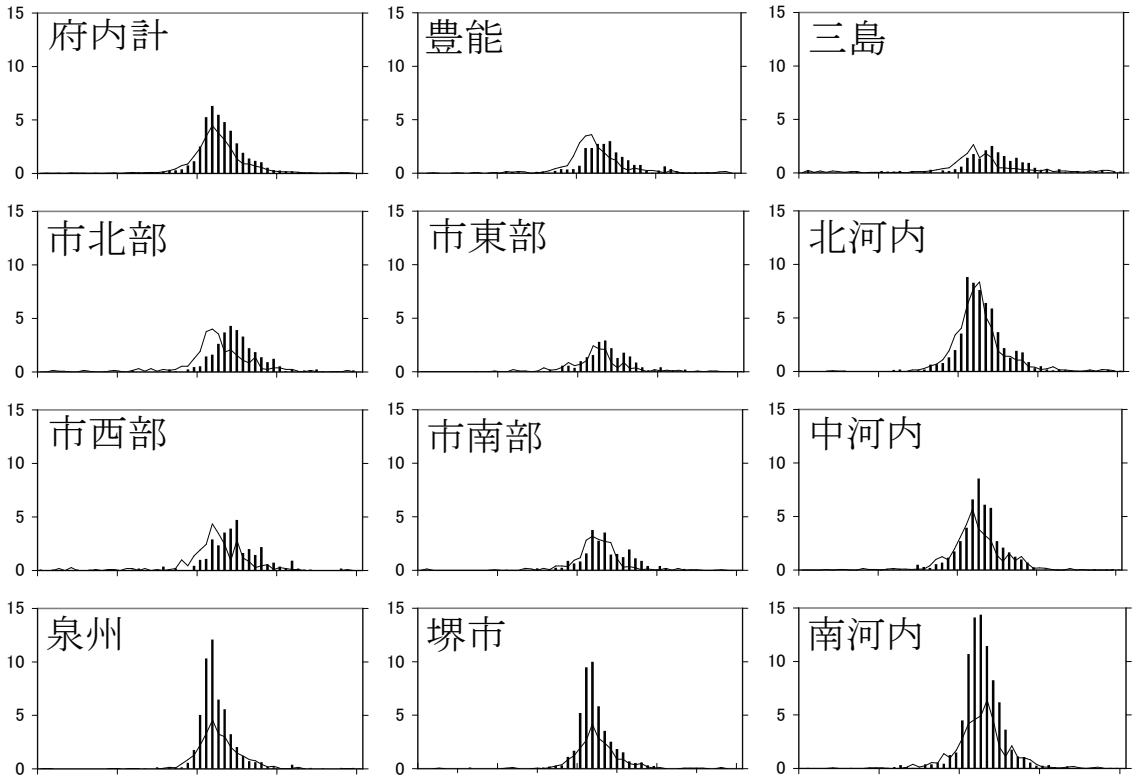
ブロック別でみると、第 25 週に③北河内、⑤南河内、④中河内、⑥堺市が定点あたり 1.0 を超え、第 28 週には全ブロックが定点あたり 1.0 以上となった。第 28 から 33 週に各ブロックのピークがあり、それぞれの最高値は⑤南河内 14.50、⑦泉州 12.10、⑥堺市 10.00、④中河内 9.00、③北河内 8.82、⑨大阪市西部 4.73、⑧大阪市北部 4.31、⑪大阪市南部 3.82、①豊能 3.13、⑩大阪市東部 2.93、②三島 2.53 であった。

本疾患は 6 月末から 7 月にかけて流行の急峻な単峰性ピークを示す夏型感染症である。本年の流行は全体として、比較的典型的な流行パターンであったが、流行のピークが 7 月から 8 月にかけてと連れ込んだ。

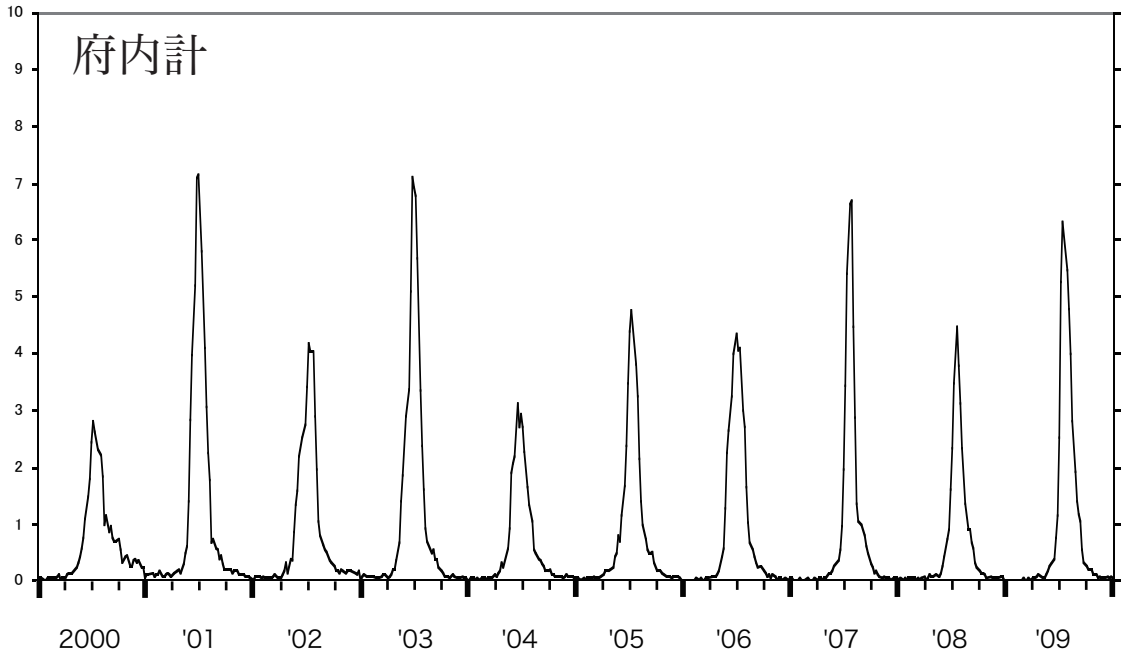
（文責：池原）

ヘルパンギーナ

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● 流行性耳下腺炎

平成 21 年の報告数は前年比 82.0%増の 6,584 例で、総報告数の 5.6%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 0.63 で順位は昨年の第 9 位（0.35）から 5 位になった。

全国的には昨年の 7 位（0.42）から 4 位（0.65）になった。

定点あたりの報告数は、週別では第 28 週の 1.00 がピーク値であった。第 27 週から第 32 週（7 月～ 8 月）、第 34、35 週（8 月）、第 40、41、43 週（10 月）、第 46、48 週（11 月）、第 50、52 週（12 月）で 0.8 を超えたが年間を通じて大きな変動はなかった。

全国的には第 31 週の 0.91 がピーク値であり、第 25 ～ 32 週（6 ～ 8 月）、第 34（8 月）、第 43 週（10 月）、第 46 週（11 月）で 0.8 を超えた。

年齢別患者発生数では 4 歳の 1,200 例が最も多く、以下、5 歳（1,147 例）、3 歳（962 例）、6 歳（751 例）と続き 3 歳から 6 歳で全体の 61.7%を占めた。

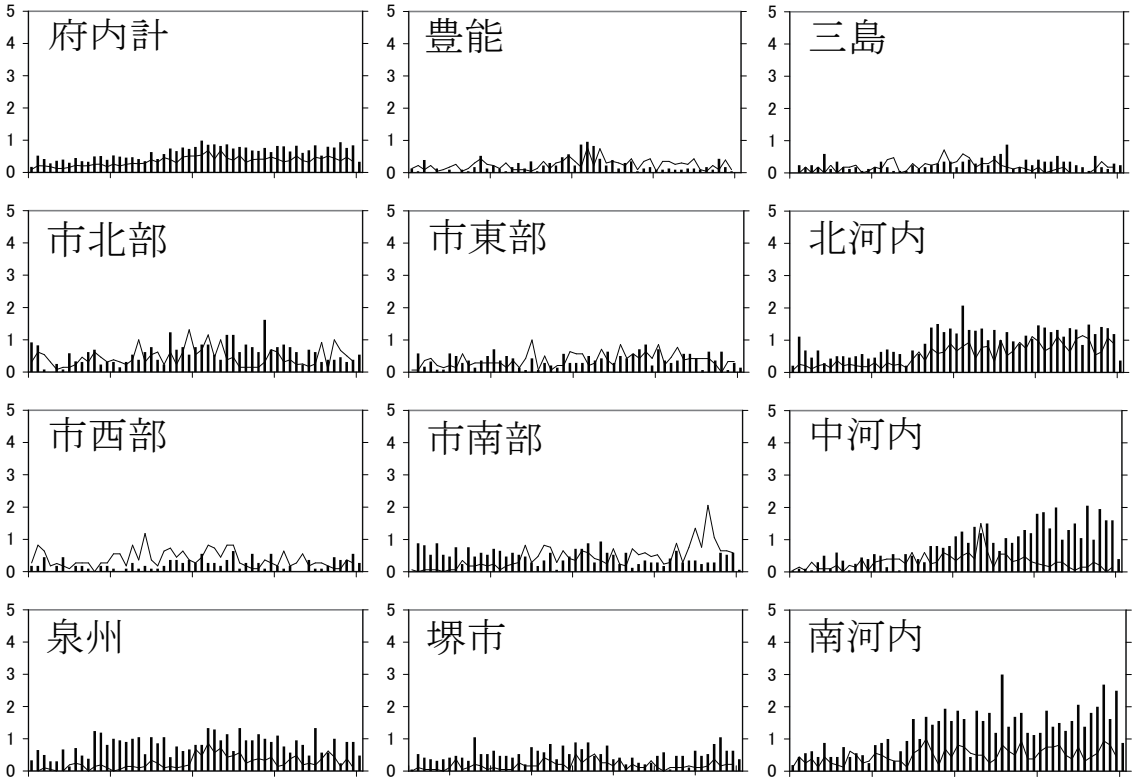
定点あたりのブロック別年平均報告数の上位 5 ブロックは⑤南河内（1.29）③北河内（0.97）、④中河内（0.86）、⑦泉州（0.80）、⑧市北部（0.59）の順であった。

ブロック別･週別定点あたりの報告数の上位 5 ブロックは、⑤南河内（第 34 週、3.00）、⑤南河内（第 50 週、2.69）、⑤南河内（第 52 週、2.50）、③北河内（第 28 週、2.07）、⑤南河内（第 46 週、2.06）の順であった。

（文責：東野）

流行性耳下腺炎

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）

3）眼科定点把握疾患

● 急性出血性結膜炎

平成 21 年の急性出血性結膜炎の報告数は、22 例で前年より 36 例（62.1%）減少し、一定点眼科医療機関あたり 0.01 であった。

週別発生状況では、府内合計で定点あたり最高が第 38 週の 0.06（3 例）で、第 4 週、第 7 週、第 47 週の 0.04（2 例）が続いた。報告の無い週は 36 週あった。

年間平均ブロック別では、⑦泉州が 0.02（7 例）で最も高かった。⑤南河内、⑨大阪市西部からは本疾患の報告報告はなかった。

年齢別では、本疾患も流行性角結膜炎と同様に例年成人の発生が多く、20 歳以上の報告数が 19 例と、全体の 86.4%を占めていた。

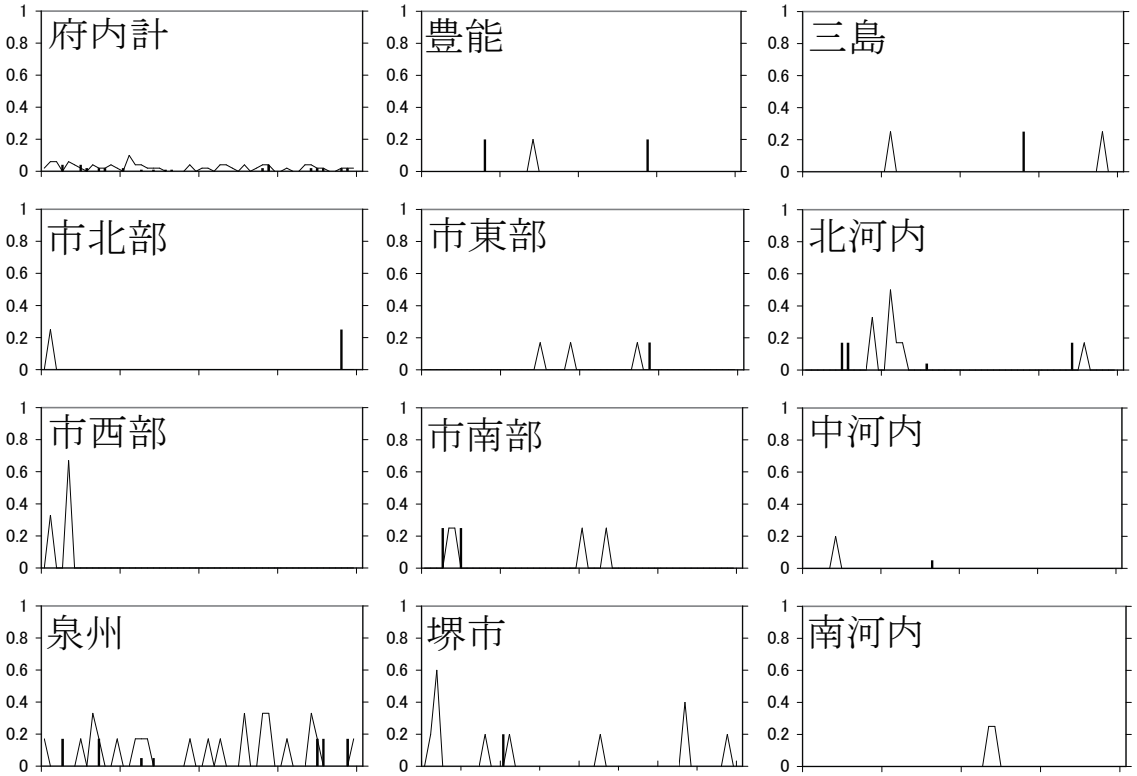
最近５年間の一眼科定点あたりの急性出血性結膜炎発生例件数

	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
大阪府	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01
全　国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.01

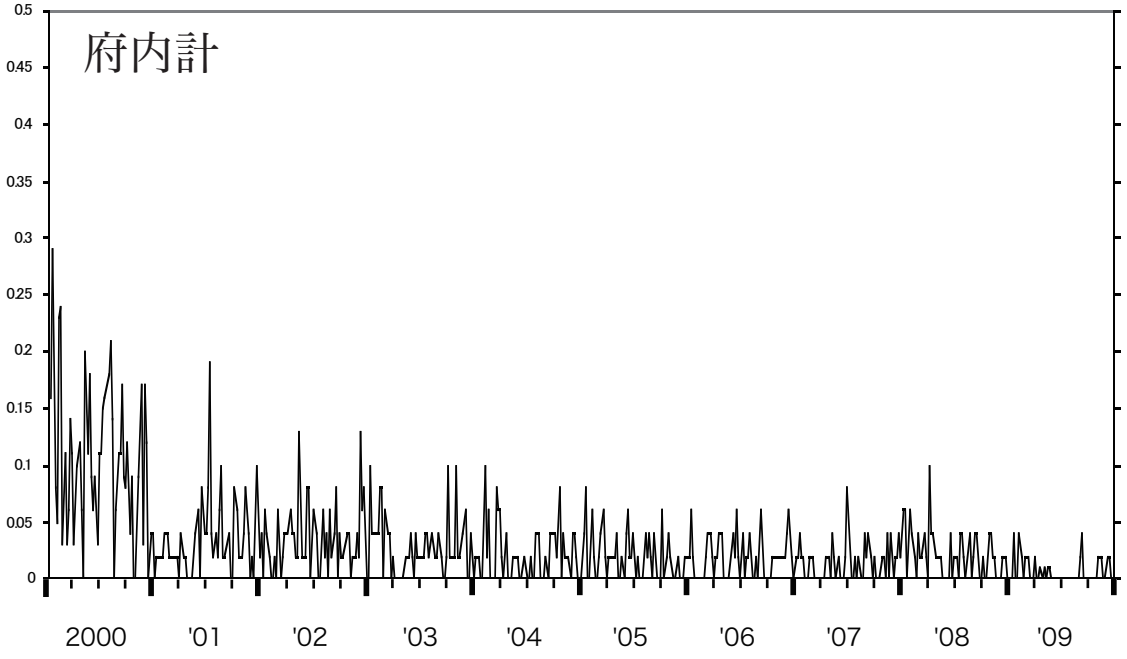
（文責：笹部）

急性出血性結膜炎

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



● 流行性角結膜炎

平成 21 年の流行性角結膜炎の報告数は 481 例で、一定点眼科医療機関あたり 0.17 であった。これは、前年より報告数で 335 例（41.1％）、定点あたりでは 0.13（43.3％）減少した。感染症発生動向調査の現在の制度がはじまって 10 年経つが、その間で最も少なかった。

週別発生状況では、府内合計で最も報告数の多かったのは、第 33 週の定点あたり 0.37 で、第 2 週の 0.33 がこれに続き、以下、第 3 週、第 28 週、第 40 週、第 51 週の 0.29、第 24 週、第 47 週が 0.27 であった。本疾患は、例年夏場に多く発生する傾向にあるが、本年は、ここ数年同様、典型的な夏型感染症の特徴は見られなかった。

週別ブロック別では、⑧大阪市北部の第 47 週の 2.00 が最大で、以下、②三島第 24 週、⑧大阪市北部第 30 週、第 33 週の 1.50、①豊能第 33 週の 1.40、⑧大阪市北部第 32 週の 1.25、①豊能第 40 週の 1.20 が続いた。

年間平均ブロック別では②三島が 0.37 と第 1 位で、次いで、⑧大阪市北部の 0.33、④中河内、⑥堺市の 0.20 の順であった。最低は⑪大阪市南部の 0.09 であった。

年齢別では、例年どおり成人（20 才以上）の発生件数が多く、本年も 380 例と 79.0％を占めた。

大阪府内の定点あたりの報告数は、全国情報よりも少く、平成 12 年以降、この傾向は続いている。

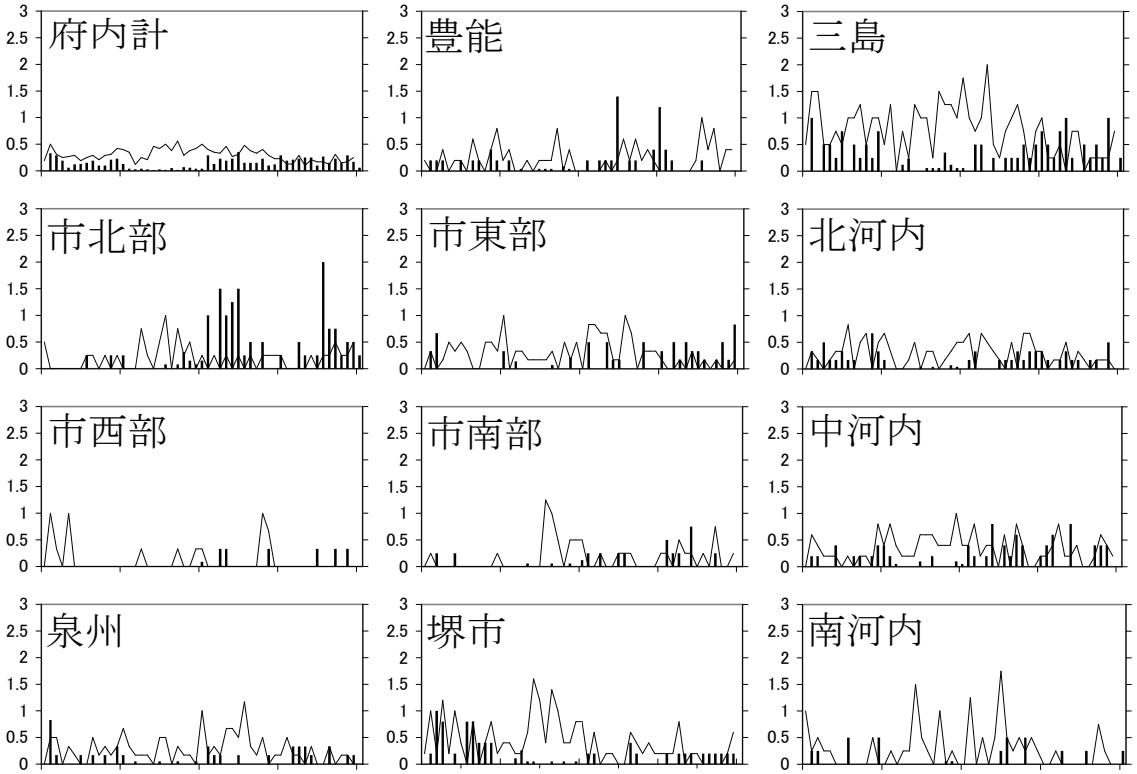
最近５年間の一眼科定点あたり流行性角結膜炎発生例数

	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
大阪府	0.41	0.46	0.27	0.30	0.17
全　国	0.88	0.91	0.69	0.69	0.47

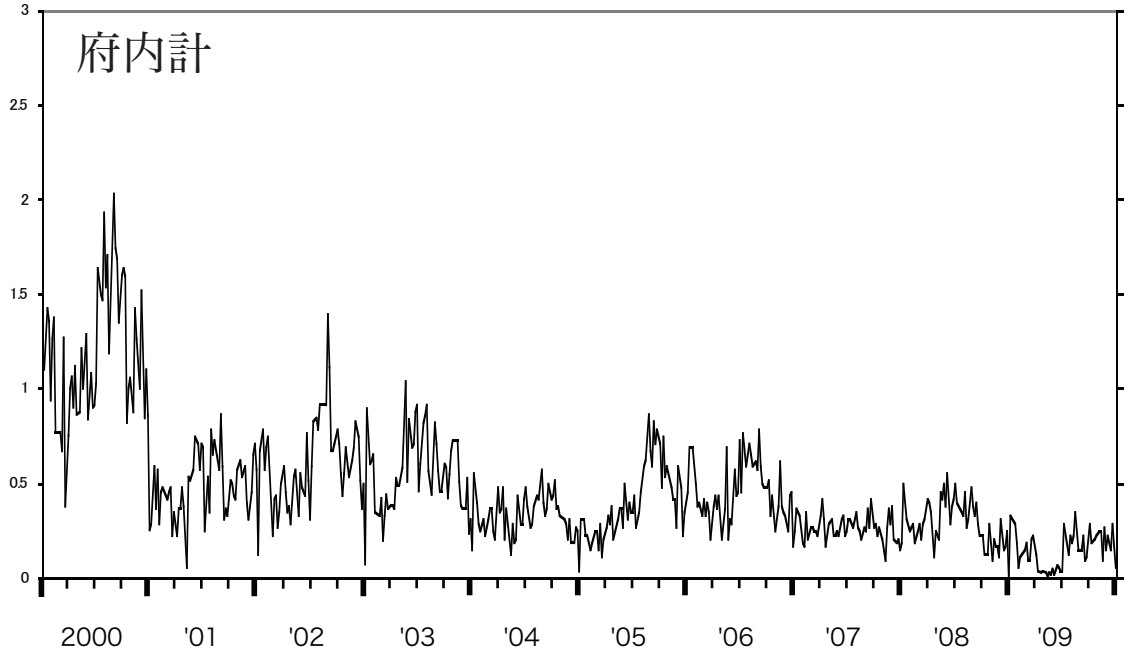
（文責：笹部）

流行性角結膜炎

線（H20 年第 1 週～第 52 週）
棒（H21 年第 1 週～第 53 週）



線（H12 年第 1 週～ H21 年第 53 週）



4）基幹定点報告（週報）対象感染症

基幹病院定点報告（週報）対象疾患は、5 類感染症の中の細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎 (オウム病を除く) の 4 疾患である。

表には平成 21、20 年の大阪府・市の各基幹病院定点からの報告数を示した。基幹病院数は第 1-7 ブロックではブロック毎に 2､第 8-11 ブロックに該当する大阪市は市全体で 2、合計で 16 である。4 疾患の報告数は H21 年が 425 で、H20 年の 488 から 12.9%の減少であった。H11 年の事業開始時から上記 4 疾患の報告活動はブロック間・病院間で報告数の差が大きく、改善が望まれている。

以下に、各疾患について述べる。

● 細菌性髄膜炎

③北河内を除く 6 ブロックと大阪市から 23 例が報告され、定点あたり 1.44、年齢は 0 歳 7 例、1 ～ 4 歳が 5 例、5 ～ 9 歳が 3 例、40 ～ 39 歳が 1 例、60 歳～が 7 例であった。起炎菌情報は、*Haemophilus influenzae* が 5 株、*Staphylococcus aureus* が 2 株、*Streptococcus pneumoniae* が 1 株などであった。H20 年は 20 例が報告され、定点あたり 1.3 で、H21 年は前年比 15%増であった。

全国集計では H21 年は 476 例の報告があり、病院定点当たり 1.02、H20 年は 402 例の報告、定点あたり 0.91 で H21 年は前年比 18.4%増であった。全国集計では 40%程度

ブロック	細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	
(年)	H20	H21	H20	H21	H20	H21	H20	H21
①豊能	1	1	0	0	0	0	0	0
②三島	3	2	3	4	4	50	3	4
③北河内	0	0	0	0	50	47	0	0
④中河内	0	5	1	2	84	75	0	0
⑤南河内	2	2	4	0	10	7	2	1
⑥堺	5	8	9	2	93	88	1	18
⑦泉州	5	3	0	0	164	76	0	0
大阪市	4	2	6	4	33	22	1	2
合計	20	23	23	12	438	365	7	25
定点当たり大阪	1.25	1.44	1.44	0.75	27.38	22.81	0.44	1.56
定点当たり全国	0.91	1.02	1.55	1.38	20.85	18.19	1.37	1.18
定点数	16	16	16	16	16	16	16	16

がｂ型インフルエンザ菌 *H. influenzae* type b(Hib) といわれる。

主要起炎菌である Hib のワクチン (アクトヒブ ®) は、日本では H21 年ようやく市販された。平成 22 年 6 月現在もアクトヒブ ® は供給不足であるが、本年中にはすべての希望者への接種量は確保される見通しである。さらに平成 22 年 2 月には共有結合型 7 価肺炎球菌ワクチン（プレベナー ®）も発売された。小児の細菌性髄膜炎の発生を激減させる両ワクチンが早期に定期接種に組み込まれることが望まれる。国立感染症研究所では平成 21 年 4 月からインターネットによる侵襲性 Hib 感染症の全数把握を目指して、症例登録システムを開始したが、この 1 年間で 100 例程度の登録に留まっている。

● 無菌性髄膜炎

3 ブロックと大阪市から合計 12 例が報告され、定点当たり 0.8 で前年比 48%もの減少であった。年齢構成は 0 ～ 4 歳 4 例、5 ～ 9 歳 4 例、10 ～ 19 歳 1 例、20 歳～ 39 歳 3 例であった。

無菌性髄膜炎の起炎病原体としては H14 年にはエコー 13、H15 年はエコー 30、E6、H16 年はムンプス、コクサッキー B5、H17 年はなく、H18 年はエコー 18、エコー 9、コクサッキー B 5、H19 年、H20 年はコクサッキー B5、エコー 30 であったが、H21 年はなかった。最近 10 年では最も報告が多かったのは、エコー 13 が流行した H14 年で定点あたり 8.14 であった。

全国集計では H21 年定点あたり 1.38、H20 年は 1.55 で、11％減であった。

● マイコプラズマ肺炎

豊能を除く、6 ブロックと大阪市から 365 例の報告があり、定点あたり 22.8 で、H20 年の 17%減であった。ブロック別では⑥堺 24%、⑦泉州 21%、④中河内 21%からの報告が多かった。年齢は図 1-1 に示すように 2 歳～ 5 歳にゆるやかなピークのある年齢分布を示し、H20 年に比し 10 ～ 59 歳が少なかった。年齢分布は 0 ～ 4 歳 33%、5 ～ 9 歳 36%、10 歳～ 19 歳 16%であった。H20、H21 年の週別分布と H21 年の全国週別報告数を図 1-2 に示した。H20 年は 26 週以後半年が 58%をしめたが、H21 年は年の前半後半で差がなかった。

全国的にはマイコプラズマ肺炎は H12 年秋以後毎年一定の流行がみられ、定点あたりで は H15 年 12.1、H16 年 12.2、H17 年 14.2、H18 年 20.9 、H19 年 19.9、H20 年 20.1、H21 年 18.2 と年毎の差は小さく、かつてのような 4 年毎の周期性はみられない。

図1-1　マイコプラズマ肺炎年齢分布

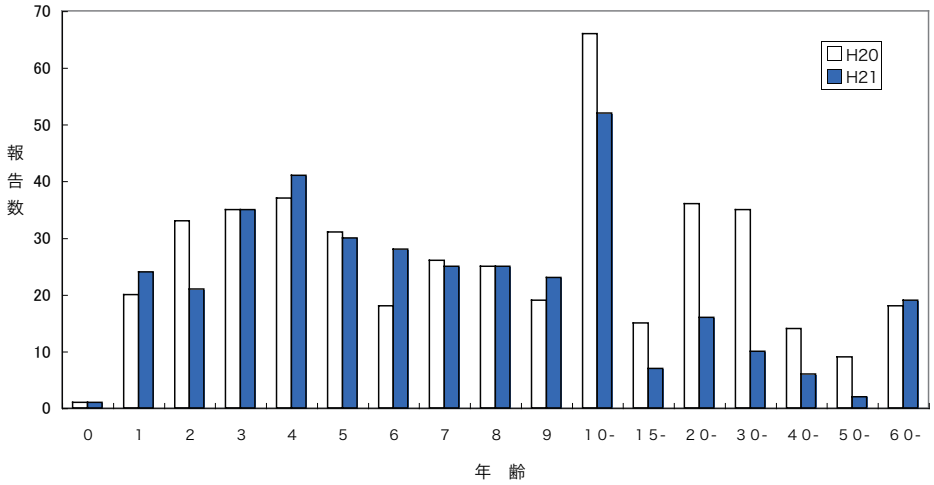
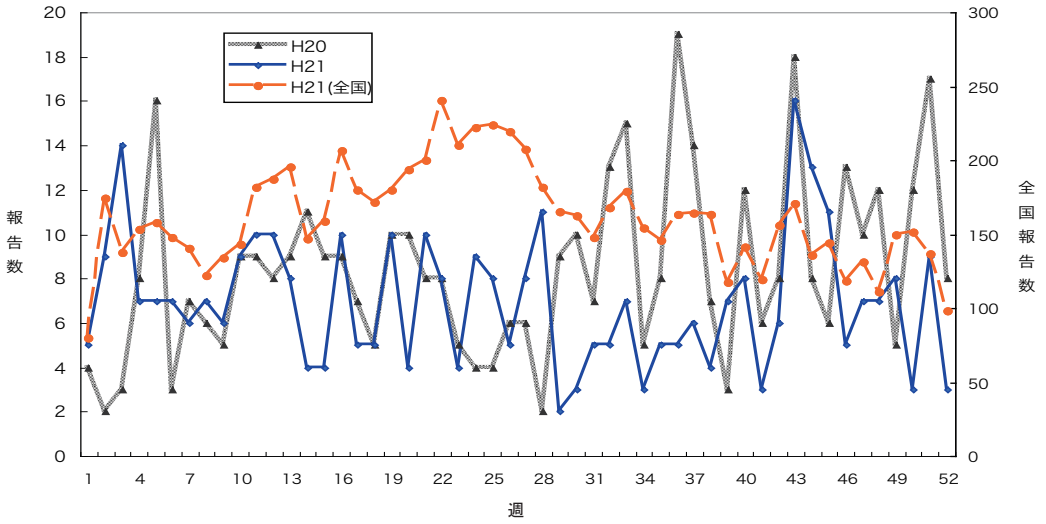


図1-2　マイコプラズマ肺炎週別報告数



● クラミジア肺炎（オーム病を除く）

H21 年は 25 例の報告で、H20 年の 2.6 倍の報告があった。ブロック別では⑥堺から 72%の報告があった。週別では 44 週から 55 週に 56%が集中して報告されていた。年齢分布は 0-9 歳が 52%、10 ～ 19 歳が 20%、40 歳～が 28%であった。　全国集計では定点あたり 1.15 で、H20 年の 15%減であった。

なお、肺炎クラミジア (*Chlamydophila pneumonia*) の IgM 抗体 (ヒタザイム) には非特異反応が多いことが指摘されており、従来通りのペア血清による IgA と IgG 抗体価の変化も合わせて、感染の診断を行うことが望ましいといえよう。

（文責：塩見）

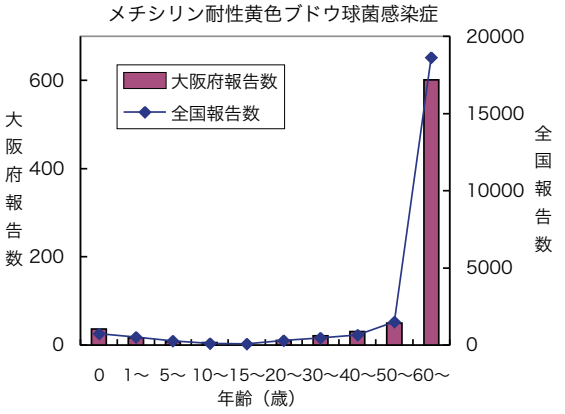
5）基幹定点（月報）対象感染症

基幹病院定点報告（月報）対象疾患は、院内感染対策に問題となりうる薬剤耐性菌が起こす、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の３疾患である。

基幹定点月報対象感染症を報告する大阪府内の基幹病院定点数は、16 である。

● メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

全てのブロックから前年比 9.2％増の 780 例の報告があった。全国情報（NESID 年報　平成 22 年 3 月 10 日現在）では、前年比 7.3％減の 23,325 例の報告があり、大阪府の報告数は、全国の 3.3%であった。

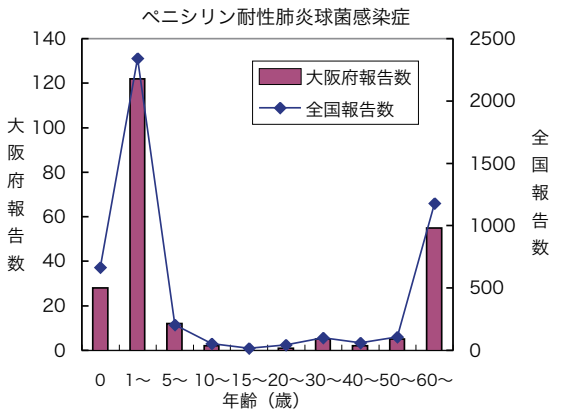


年齢別構成は 0 歳 36 例、1 ～ 4 歳 16 例、5 ～ 9 歳 8 例、10 ～ 14 歳 6 例、20 ～ 29 歳 11 例、30 ～ 39 歳 21 例、40 ～ 49 歳 31 例、50 ～ 59 歳 50 例、60 歳以上 601 例であり、60 歳以上が 77.1％を占めた。これは前年と同様で全国的にも同じ傾向である。

● ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

③北河内、大阪市を除く 6 ブロックから、前年の 2 倍以上の 232 例の報告があった。全国情報（NESID 年報　平成 22 年 3 月 10 日現在）では、前年比 9.2％減の 4,772 例の報告があり、大阪府の報告数は、全国の 4.9%であった。

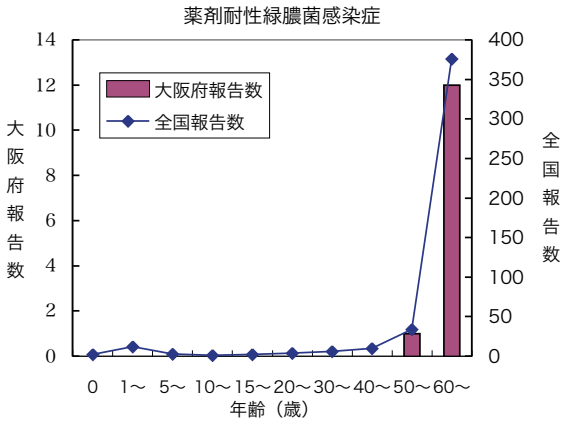
年齢別構成は 0 歳 28 例、1 ～ 4 歳 122 例、5 ～ 9 歳 12 例、10 ～ 14 歳 2 例、20 ～ 29 歳 1 例、30 ～ 39 歳 5 例、40 ～ 49 歳 2 例、50 ～ 59 歳 5 例、60 歳以上 55 例であり、1 ～ 4 歳までと 60 歳以上が多くそれぞれ 52.6％、23.7％であった。前年は 1 ～ 4 歳までと 60 歳以上が同程度であったが、平成 21 年は 1 ～ 4 歳までが前年の約 3 倍も多く、



年齢別構成としては全国と同じ傾向であった。

● 薬剤耐性緑膿菌感染症

薬剤耐性緑膿菌感染症は報告数が少なく、②三島、③北河内、⑦泉州、大阪市から 13 例の報告があった。前年の報告は 12 例であった。全国情報（NESID 年報　平成 22 年 3 月 10 日現在）では、前年比 2.2％減の 450 例の報告があり、大阪府内の報告数は、全国の 2.8%であった。



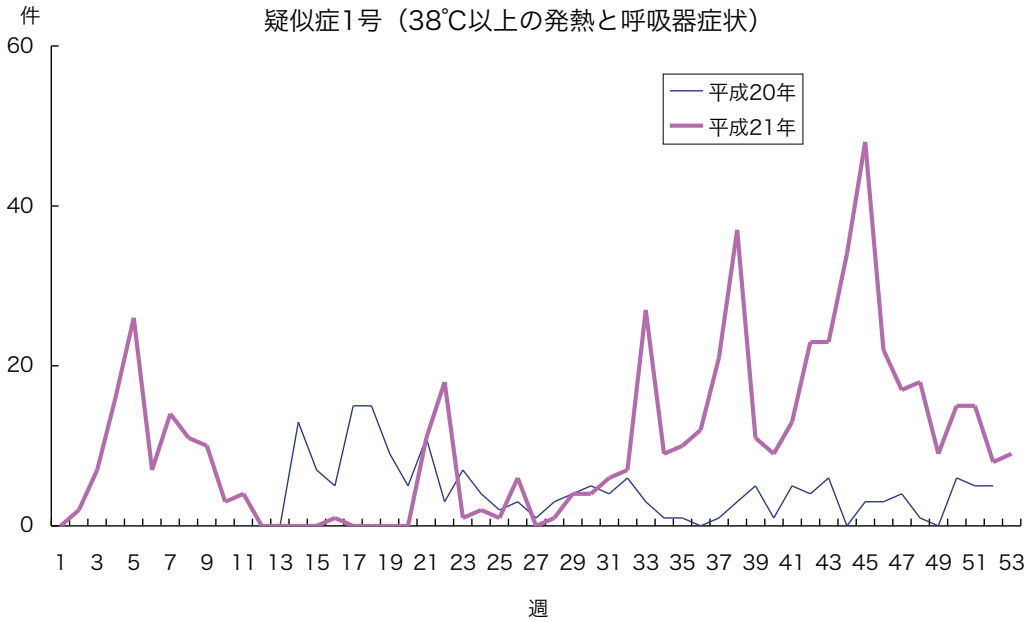
年齢別構成は、50 ～ 59 歳 1 例の他は全て 60 歳以上で、60 歳以上が 92.3％を占めた。これは前年と同様で全国的にも同じ傾向である。

（文責：加藤）

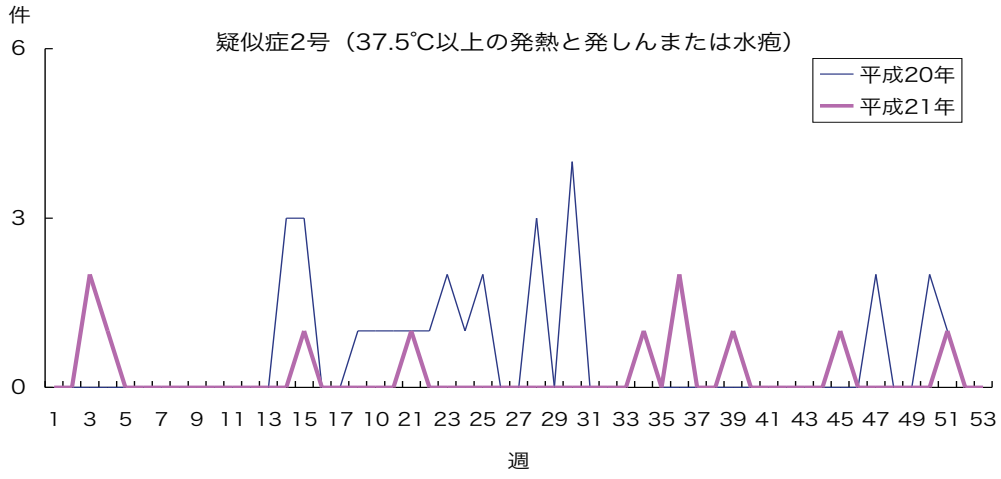
6）厚生労働省令で定める疑似症

平成 19 年 4 月 1 日に感染症法が改正され、指定届出機関による疑似症の届出制度が施行された。大阪府では平成 20 年 4 月 1 日より疑似症の届出が始まり、本年は二年目である。

疑似症第 1 号の届出基準は、38℃以上の発熱と入院を要する程度に重症な呼吸器症状、



及びどちらの症状も呈することである。平成 21 年は 552 例の報告があった。前年の 179 例に比較して 373 例（208.4％）増であった。週別報告数は、第 45 週が 48 例、第 38 週が 37 例、第 44 週が 34 例、第 33 週が 27 例、第 5 週が 26 例であった。年齢別報告数は、10 歳～ 14 歳が 112 例で最も多く、2 歳～ 3 歳、4 歳～ 5 歳がそれぞれ 68 例、1 歳が 67 例、15 歳～ 19 歳が 53 例であった。

疑似症第 2 号の届出基準は、37.5℃以上の発熱、発しんまたは水疱、及びどちらの症状も呈することである。平成 21 年は 11 例の報告があった。前年の 29 例に比較して 18 例（62.1％）減であった。週別報告数は、第 3 週・第 36 週が 2 例、第 4 週・第 15 週・第 21 週・第 34 週・第 39 週・第 45 週・第 51 週が 1 例で、他の週は報告がなかった。年齢別報告数は、0 歳が 4 例、1 歳、8 歳～ 9 歳がそれぞれ 2 例、2 歳～ 3 歳、6 歳～ 7 才、15 歳～ 19 歳がそれぞれ 1 例であった。4 歳～ 5 歳、10 歳～ 14 歳及び 20 歳以上の年代に報告はなかった。

（文責：田中）